Ⅲ 放課後子ども教室の実践事例

♦	平月	戊2	4	年	度	放	課	後	子	ځ	ŧ	教	室	_	覧	•	•	•	•	1	1	9
\Diamond	長流	兵市	•		•	•	•	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	1	2	0
\Diamond	栗耳	東市	•		•	•	•	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	1	3	5
\Diamond	甲貧	買市	•		•	•	•	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	1	4	3
		州市																				
		丘江																				
\Diamond	米原	原市	•		•	•	•	•		•			•		•	•	•	•		1	5	9
\Diamond	竜:	E町	•		•	•	•	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	1	6	4
•	おき	里後	頂	畜	ク	=	ヺ	ത	担	北	囯	杏								1	7	3

H 2 4 放課後子ども教室一覧表

市町名 室	教室数		運営委員会·教室名	実施場所	開催曜日	開設時間	委託	委託団体名
- 2	~	ΟĐ	長浜市放課後子どもプラン運営委員会					
			長浜小学校区土曜学び座	長浜公民館	土	9:00~12:00		/
			長浜北小学校区土曜学び座	長浜サンパレス・養蚕の館	土	9:00~12:00		
			神照小学校区土曜学び座	神照公民館	土	9:00~12:00		\
			南郷里小学校区土曜学び座	南郷里公民館	土	9:00~12:00		\
			北郷里小学校区土曜学び座	北郷里公民館	土	9:00~12:00		\
			長浜南小学校区土曜学び座	西黒田·神田·六荘公民館	土	9:00~12:00		\
長浜市	_		びわ地区土曜学び座 	びわ公民館 	土	9:00~12:00		\
			浅井地区土曜学び座 	湯田・田根・下草野・上草野・七尾公民館、浅井体育館	<u>±</u>	9:00~12:00		\
	ļ		虎姫地区土曜学び座	虎姫公民館	<u> </u>	9:00~12:00		\
			湖北地区土曜学び座	湖北公民館	土	9:00~12:00		\
	ŀ		高月地区土曜学び座	高月公民館	<u> </u>	9:00~12:00		\
	ŀ		木之本地区土曜学び座	公立木之本公民館	土土土	9:00~12:00		\
	-		余呉地区土曜学び座 西浅井地区土曜学び座	余呉文化ホール等 西浅井公民館	·····	9:00~12:00 9:00~12:00		\
- 1	9	\bigcirc	四戌升地区工唯子6년 東市地域教育協議会	日及开ム氏品	土	9.00** 12.00		•
	Ĭ	0,	葉山ふれあい子ども広場(未実施)	 葉山小学校体育館	月	15:00~17:00		
	ŀ		葉山東ふれあい子ども広場	菜山東小学校体育館 コミュニティセンター葉山東	水	15:00~17:00		
	-		はるたっこ広場	治田小学校体育館 コミュニティセンター治田	金	15:00~17:00		
	-		チャレンジはるひがっこ	治田東小学校体育館・コミュニティセンター治田東	水・土	15:00~17:00		
栗東市	ŀ		治西のびのび広場	コミュニティセンター治田西 治田西小学校	水・土			栗東市地域教育協議会
	ľ		大宝わくわくタイム	大宝小学校体育館	水	15:00~17:00		
	ľ		大宝西ふれあい子ども広場	大宝西小学校体育館 コミュニティセンター大宝西	水	15:00~17:00		
			さんさん・キッズ	大宝東小学校体育館 コミュニティルーム	水	15:00~17:00		
			金勝ふれあい子ども広場(未実施)	金勝小学校体育館 コミュニティーセンター金勝	水	15:00~17:00		
	5	O¶	甲賀市放課後子どもプラン運営委員会					
			水口子ども教室	水口中央公民館 水口中部コミュニティーセンター 子どもの森他	土・日	午前2時間または 午後2時間		
甲賀市			土山子ども教室	土山中央・大野・山内・鮎河公民館	±	午前2時間または 午後2時間		
1 20.1		新	信楽子ども教室	信楽中央公民館 信楽森林組合 隼人川みずべ公園他	土・日	10:00~12:00		
		新	甲南子ども教室	甲南公民館 かえで会館他	±	午前2時間または 午後2時間		
			甲賀こども教室	かふか生涯学習館 甲賀創健館他	土	午前2時間 天文クラブ19:00~20:30		
,	6	O	ß洲市地域教育協議会 					
			中主地域子ども教室(中里・兵主)	コミュニティセンターなかさと・ひょうず	土・日	9:00~16:00		
	-				水・木	(内2時間) 9:00~16:00		
			篠原地域子ども教室 	コミュニティセンターしのはら	土・日	(内2時間)		
野洲市			祇王子どもクラブ 	コミュニティセンターぎおう	土・日	9:30~19:00 (内2時間)	0	野洲市地域教育協議会
			三上楽しいクラブ活動	コミュニティセンターみかみ		9:30~12:00 (内1時間半~2時間)	_	
			野洲学区わくわく子どもクラブ	コミュニティセンターやす	±	9:00~13:00 (内2時間~3時間半)		
			北野っ子フレンドリークラブ	コミュニティセンターきたの	土・日	9:30~11:30 14:00~18:00		
	1	O	東近江市地域教育協議会					
東近江市	ſ		蒲生マックスクラブ	蒲生コミュニティーセンターとその周辺	土・日	10:00~12:00 13:30~16:00		蒲生地区地域教育力 体験活動実行委員会
	4	O۶	*原市放課後安心プラン運営委員会		<u></u> _			
			放課後キッズinおうみ	近江公民館、周辺施設	土・日	9:00~11:30	0	NPO法人 おうみ地域人権・ 文化・スポーツ振興会
米原市			放課後キッズinまいはら	すぱ一〈米原、周辺施設	土・日	9:00~11:00		NPO法人 MOSスポー ツクラブ
			放課後キッズinきんせい	三等生涯学習センターきんせい、周辺施設	水 土	15:00~17:00 9:30~11:45	0	タウンルッチ
			放課後キッズinジョイ	伊吹薬草の里文化センター 周辺施設	水 土·日	16:00~17:45 10:00~12:00		伊吹山山麓青少年育 成事業団
1 -	8	04	公民館子ども教室運営委員会		<u> </u>			
['	8 (チャレンジクラブ	竜王町公民館他	月~水 土	7:00~12:00 9:00~12:00		
			1		<u>+</u>	13:30~15:30		
			デジカメパソコンクラブ	电工则公氏路				
			デジカメパソコンクラブ		全.+.口	9:00~12:00		
竜王町			宇宙科学クラブ	竜王町公民館他	金・土・日	18:00~21:00		
			宇宙科学クラブ	竜王町公民館他 竜王町公民館他	土	18:00~21:00 13:30~15:30		
			宇宙科学クラブ 華道クラブ 絵画クラブ	竜王町公民館他 竜王町公民館他 竜王町公民館他	土土土	18:00~21:00 13:30~15:30 9:00~12:00		
			宇宙科学クラブ 華道クラブ 絵画クラブ 吹奏楽教室	竜王町公民館他 竜王町公民館他 竜王町公民館他 竜王町公民館他	土 土 木	18:00~21:00 13:30~15:30 9:00~12:00 19:30~21:30		
		新	宇宙科学クラブ 華道クラブ 絵画クラブ	竜王町公民館他 竜王町公民館他 竜王町公民館他	土土土	18:00~21:00 13:30~15:30 9:00~12:00		

長浜市放課後子どもプラン 運営委員会

連絡先

長浜市企画部生涯学習・文化スポーツ課 TEL 0749-65-6552 FAX 0749-65-6571

E-mail syougaku@city.nagahama.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (14)人

構成委員(所属・役職名)

長浜市社会教育委員、長浜市放課後児童クラブ関係者、長浜市PTA関係者、小学校校長、 長浜市教育委員会教育指導課副参事、生涯学習・文化スポーツ課長、コーディネーター

2 運営委員会の協議内容

□	実 施 日	参加人数	協議内容
1	12月19日	14人	・土曜学び座事業内容について ・放課後児童クラブ事業内容について

3 広報

- ・参加者募集については、学校を通じてチラシを配布し、学校で参加者の取りまとめをしていた だいている。
- 毎月のチラシを報道機関へ資料提供し活動内容をPRしている。
- 4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

〈学校〉

参加者募集について、学校を通じてチラシを配布し、学校で参加者の取りまとめをしてもらっている。

〈子ども会・地区社会福祉協議会・地域づくり協議会など〉

事業の共催や指導者・ボランティアとして協力してもらっている。

〈企業・大学〉

講師として協力してもらっている。

5 スタッフの研修・ミーティングなど

〈土曜学び座担当者会議〉 内容:事業内容の情報交換・活動の進め方についてなど(年3~4回)

対象:各公民館土曜学び座担当職員、コーディネーター

〈コーディネーター連絡会議〉内容:各公民館の実施状況や課題について

土曜学び座のつどいについて

土曜学び座

長浜小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	39 日
	学校外	•	活動の特徴	プログラム型	•	州准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	3 日

活動内容



定例講座として8月を除く毎月開講。毎年3月には、子ども囲碁大会を開催。長浜市囲碁クラブ会員に講師をお願いし指導を受ける。一回あたりの参加者平均25名程度。そのうちの参加比率は低学年2:中学年1:高学年1で、他の講座と比べると高学年の参加が目立っていることが特徴。



平成24年長期休暇中の自然体験講座の一つ。 当日は35℃近くに迫る猛暑を避け、夕方開 講。日没前に食事を終え、夜は肝だめしで 盛り上がる。高山キャンプ場やまのこ専任 指導員をリーダーにボランティア11名を加 え、60名の参加児童あり。

【平成24年度の取り組み】

工作・絵画9講座 料理9講座 スポーツ1講座 実験・観察1講座 遊び1講座 伝統文化1講座 自然体験2講座 趣味11講座 地域交流2講座

教室の実施場所

長浜公民館 長浜小学校 西中学校体育館 長浜農業高校 長浜バイオ大学

参加対象学年・参加人数

【**対 象**】小学生(1年生~6年生)

【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (42.0)人 長期休暇 (88.3)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の大人と子どものふれあいの機会をとり持つことを一つの基準とし、講座内容に沿って適任な方に依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	-	0~3	1~2
登録者数	_	_	-	_

安全管理 • 配慮事項

【**送迎**】参加は、保護者の送迎を原則とし、毎月の 募集チラシで呼びかけている。

【**緊急対応】**「土曜学び座安全マニュアル」に基づき 対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】コーディネーターや職員が場面に応じて支援体制はあるが、現在該当者なし。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 把握なし

地域の機関等との連携

【学校】予定表の配布・申込書の回収

【学校支援地域本部】学校支援メニュー等の情報提供 あり

【児童クラブ】長期休業中の出前講座

【地域】講師、ボランティアスタッフの依頼

【企業・大学】連携した講座を開催

【その他】市内関連施設との情報交換

事業を実施して

【成果と課題】: 子どもたちの週末の居場所づくりとして定着してきた。

【子どもの声】: やっぱりお菓子作りが一番好き。お友達と作ったり、お母さんと作ったりするのが楽し

\ \ \ ^ \

【保護者の声】: 家庭ではできない経験ができてありがたい。

【スタッフの声】:子どもたちからエネルギーをもらっている。土曜学び座が地域にも定着しつつあり今後

様々な活動に地域の方が関わって頂けるよう、かけはし役も担っていきたい。

土曜学び座

長浜北小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	_	年間開催日数	27 日
	学校外	•	活動の特徴	プログラム型	•	刑惟口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	

活動内容

「手話で話そう」

「聞こえない人との会話はどうすればよいの?」という問いに戸惑っていた子どもたちでしたが、講師(実際に聞こえない人)から口話・空書きるい、早速手話で自分の名前の自己紹介をしあいました。先生にもちゃんと伝えることが出出てした。帰りには手話であいさつも出出のかなでお礼を言って講座を終わりました。何かを掴んで帰ってくれたと思います。

「リズムダンス」

3 B体操を取り入れながら色んなリズムに挑戦した「リズムダンス」です。1回では把握出来ないので今回は5回シリーズで実施しました。参れたは1を動かすことが楽しかったと言われ毎回参加された保護者の方もおられました。適度な2回も総続してシリーズで実施したいと思っています。次年度は発表出来る場も考えています。





教室の実施場所

養蚕の館・長浜公民館・神照公民館

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校1年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (17)人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

施設から直接依頼します。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	_	1	1	1
登録者数				

ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【**送迎**】 保護者の送迎を原則としている。帰る時は保護者の方が来られるまで見守り。

【**緊急対応**】土曜学び座安全マニュアルに基づき対応。参加申し込み名簿には電話番号を記載。

【配慮の必要な子どもへの対応】

地域担当の先生に相談。必要があれば対応。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (把握なし)

地域の機関等との連携

【学校】地域担当・教頭先生にお願いしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 青少年育成会議・地域住民にボランティアを依頼。

【企業・大学】プログラムの紹介や講師の派遣

【その他】 他公民館との情報交換

事業を実施して

【成果と課題】: シリーズの講座は深く進めていくことが可能であるため今後もシリーズで奥深く講座を

実施していきたい。

【子どもの声】:楽しかった。次回もやってほしい。

【保護者の声】:参加して良かった。子どもと一緒に身体を動かす機会が良かった。

【スタッフの声】:子どもたちと関わることで逆に学ぶことが多く今後も関わっていきたい。

土曜学び座

神照小学校区

実施場所	学校内	Δ	活動の特徴	自由活動型	_	閉催日	平日	_	年間開催日数	19 日
天旭场別	学校外	•	活動の特徴・	プログラム型	•	開催日	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	1日

活動内容

1) 体験学習

○さつまいも : 苗植えから収穫,料理まで○もち米 : 田植えから収穫,もちつき

しめ縄まで



田植え



しめなわづくり

○デイキャンプ:地元の歴史を学ぶ

小谷城跡へ登山

• 歷史資料館見学

2) スポーツ

○3世代交流グラウンドゴルフ

○むかしなつかし外遊び

転がしドッジボール, ゴムとび, フリスビー, キャッチング・ザ・ポール

3) アート (工作)

○テープサート, 絵手紙, プルトップの小物 デコスィーツホルダー, スノードーム クリスマスの小物, 腹話術の人形づくり

4)料理

○さつまいも料理, がらたてづくり, バレンタインお菓子作り

教室の実施場所

神照公民館 神照小学校体育館 学区内の畑・田んぼ 小谷山及びその周辺

参加対象学年・参加人数

【対 象】 1年生~6年生

【参加人数】 平日

 平日
 ()人

 土日・祝日
 (18.7)人

 長期休暇
 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

地域の方々に声をかけ講師やお手伝いをお願いし ている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-	_	2	1
登録者数	2	_		-

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理•配慮事項

【送迎】 保護者の送迎を原則としている。帰る時は最後の一人まで見守る。

【緊急対応】 土曜学び座安全マニュアルに基づき対応。参加申し込み名簿に電話番号を記載。

【配慮の必要な子どもへの対応】

地域担当の先生に相談。必要があれば対応する。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (把握なし)

地域の機関等との連携

【学校】 神照小学校

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 青少年育成会議・子ども会等地域住民団体

【企業·大学】

プログラムの紹介や講師の派遣

【その他】 他公民館との情報交換

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年・保護者同士の交流ができ協力しあうことが出来るようになった。地域の方々の

おかげで自然体験ができ交流もできた。 男女共に参加したくなる講座を企画したい。

【子どもの声】: 「楽しかった」「また来るわ」「家で教えたるわ」

【保護者の声】: 「楽しかった」「良かった」「いい経験をさせてもらった」

【スタッフの声】: 学び座から色んな発見があり驚き、楽しく、やりがいがある。出来るだけ子どもに役割

を持たせて皆でつくるイメージの学び座を目指したい。

土曜学び座

南郷里小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	13 日
	学校外	•	/口到1071寸1以	プログラム型	•	用惟口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

- ◆キューピー株式会社の出前講座「マヨネーズ教室」を依頼。マヨネーズ工場の様子や食育についてビデオなどで学び、マヨネーズを作って試食。油汚れを水できれいに洗う方法まで教えていただいた。終了後のアンケートによると、子ども、保護者共に好評であった。
- ◆「みんなで大きな絵をかこう」と題し、2m×4mの模造紙にポスターカラーやクレパスを使って絵を描いたり、手のひらに絵の具をつけ、紅葉に見立てたりして仕上げた。みんなで協力して一つの作品を作るために、譲り合うことなどを学べた。作品は文化祭に展示し、多くの来場者に見ていただいた。
- ◆他「わくわくおたのしみ会」「おりがみでフラワーアート」「たなばたささかざり」「あそびの宝ばこ」「Myうちわをつくろう」「マグネットクリップ」「たのしくからだをうごかそう」





教室の実施場所

南郷里公民館 · 南郷里小学校体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】南郷里小学校1年~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (32.8)人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

公民館利用者や地域団体に声かけして依頼。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-	-	1	1
登録者数	_	_		

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

保護者の送迎が原則。講座終了後は全員が帰宅するまで職員が見守り。

【緊急対応】

土曜学び座安全管理マニュアルに基づき対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】

保護者が一緒に参加されている。保護者、学校と の連携が必要。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(1)人

地域の機関等との連携

【学校】 予定表の配布、申し込み用紙の回収

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員児童委員

【企業・大学】 なし

【その他】

事業を実施して

【成果と課題】: 挨拶はほぼできるようになった。時間を守ることについては保護者の協力も必要。

【子どもの声】: 「楽しかった」「またやってほしい」

【保護者の声】: 子どもが楽しみにしています。

【スタッフの声】:子どもたちの自主性、発想を活かせる講座を企画していきたい。

十曜学75座 北郷里小学校区

		<u> </u>					
かり特徴	自由活動型	-	盟催日	平日	_	年間開催日数	0 日

実施場所	学校内	-	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	1	年間開催日数	0 日
大心场所	学校外	•	/口到0/1寸1以	プログラム型	•	刑阻口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	17 日

動 内

- 1) 地域の方とのふれあい:三世代交流餅つき大 会・しめ縄つくり・長巻きすしつくり・フルー ツ大福わらび餅クッキーつくり(健康推進員講 師)
- 2) 異年齢の人との交流:お化け屋敷をつくろう 卓球
- 3) さまざまなジャンルの体験:マジック・カー ネーションつくり・砂絵・盲導犬にふれよう・木 と遊ぼう・ユニカール・キャンドルつくり・ハン







教室の実施場所

北郷里公民館·北郷里小学校体育館·屋外講座

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学生1~6年 (講座内容により幼稚園児) 【参加人数】平日 (-)人

(21.4)人 土日•祝日 (-)人 長期休暇

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加|

【採用·募集方法】

・コ―ディネ―ター1名 募集していない。 ・地域のボランティアスタッフ 2名

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-	-	2	1
登録者数	-	_	_	_

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理•配慮事項

【送迎】 原則として、保護者の方に送迎をお願い している。

【緊急対応】「十曜学び座安全マニアル」に基づき対 応している。参加者の連絡先は申込み時に記入。

【配慮の必要な子どもへの対応】 スタッフが気にかけ ながら、時折注意している。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(-)人

地域の機関等との連携

【学校】 学び座の案内配布・回収

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】地区青少年育成会・地区社会福祉協議会

【企業・大学】 無し

【その他】 市内ボランティアサークルと連携し、講 師をお願いしている。

事業を実施して

【成果と課題】: 子どもの意見を聞きながら、興味を持ってくれるような講座を考えたい。

【子どもの声】:「もっと、スポーツして!」「お菓子つくりたい!」「学び座たのしい!」

【保護者の声】:「学び座喜んで参加してます。」「習ってきたことを色々教えてくれます。」

【スタッフの声】:子どもの喜ぶ顔を見ていると満足する。参加する子どもが固定化している。

他の子どもにも呼びかけたい。子ども達に忍耐力をつけたい。

土曜学び座

長浜南小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日		年間開催日数	29 日
大心物的	学校外	•	/百到少付取	プログラム型	•	刑惟口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	4 日

活動内容

- ①料理教室4回(親子料理・そば打ち・クリスマスのお菓子・いちご大福つくり)講師は健康推進委員や地域の方に依頼。
- ②スポーツ教室5回(3世代交流グラウンドゴルフ大会・相撲大会・卓球教室・雪遊び)講師は地域サークルの方に依頼。
- ③体験・工作教室6回(工場見学ツアー・エコクラフト教室・切り絵・森の工作教室・食エコ体験)
- ④地域行事との合同開催20回(グラウンドゴルフ大会・バイオ大学科学教室・キャンプ・運動会・文化祭・クリーン作戦・こどもふれあいフェスタなど)地域づくり協議会などが主催するイベントに参加する形で実施。







教室の実施場所

神田公民館・西黒田公民館・六荘公民館

参加对象学年•参加人数

【対 象】小学1~6年生 講座によって保護者参加可 【参加人数】 平日 (−)人

土目・祝日 (小学生21・全体41)人長期休暇 (小学生18・全体36)人※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

通常の行事とあわせて開催するときは、地域の広報誌に情報を掲載したり、別にチラシを配布したりしている。

【スタッフ配置人数】 3

3つの公民館で1学区を担当している

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	1	3	1
登録者数	-	_	_	-

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【送迎】基本的に保護者の送迎

【緊急対応】受付時に個々の連絡先を把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】

グループ分けの時に大人の目の届くようにしている。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(-)人

地域の機関等との連携

【学校】 長浜南小学校

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 3地区の地域づくり協議会

【企業・大学】無し

【その他】青少年・子ども会との連携

事業を実施して

【成果と課題】: 地域行事との合同開催が多いため、地域の人々と児童がふれあう良い機会となっている。設定予定人数に申し込みが満たないことが多い。

【子どもの声】: 色々な事がいっぱい学べて楽しかった。

【保護者の声】: 土曜日、学校の授業の補足として理科の実験などをしてほしい。

【スタッフの声】: 子どもたちの細かい作業をする時の集中力や豊かな発想力に驚かされます。

長浜市土曜学び座 浅井地区(湯田·田根·下草野·上草野·七尾小学校区)

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	126 日
天心场内	学校外	•	/百到の行取	プログラム型	•	洲准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	12 日

活動内容

≪土曜学び座≫

通常は各学区(浅井地区は5学区、5公民館)を対象 に、各館がそれぞれ企画し、開催しています。

【工作・絵画】ボンボンマスコットづくり、デコスイーツ、母の日のカード作り、石鹸デコパージュ、スクラップブッキング、色ぬり教室、マンダラぬり絵他

【料理】ババロアとメッセージカード作り、作ってみようリンゴ餃子、クリスマスケーキを作ろう、よもぎ団子づくり、 手作りランチ、がらたてづくり他

【実験・観察】マリーゴールド染め・マーカーの実験 【スポーツ】キッズダンス、スポーツ吹矢 , カヌー教室 【音楽】クリスマスコンサート

【伝統文化】Kids書道教室, 百人一首, 勾玉づくり

【自然体験】初夏の俳句づくりに挑戦

【地域交流】カラオケ大会inほたるまつり,たまり場へい こう,子どもフリーマーケット,大学生のみなさんと遊ぼ う

【その他】Ipadであそぼう

≪あざいぷれすく2≫

年間を通して参加する講座で、子どもが中心となり活動しています。毎回、楽しみにしてきてくれ、スキルアップをしています。また浅井地区全体の小学校対象のため、学区間、異年齢の子ども達同士のふれあいの場になっています。

将棋教室 年11回 陶芸美術教室 年8回 ニュースポーツ教室 年9回 フットサル教室 月2回 フラワーアレンジメント教室 年3回 ギター&ベースレッスン 年8回 イラスト倶楽部 年9回

キッズダンス



スクラップブッキング



教室の実施場所

浅井地区5公民館

(湯田・田根・下草野・上草野 ・七尾) 浅井体育館

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校1年生から6年生

【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (14.6)人 長期休暇 (10.7)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】講座の内容によっては、コーディネーターや、地域の方々、保護者の方に協力をお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-		1	1
登録者数				

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理•配慮事項

【送迎】 参加は保護者の送迎を原則とし、できない場合は、近所と友達と誘い合わせて参加するよう呼びかけています。

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき 対応、募集の際に連絡先を聞いておき、緊急時に 連絡が取れるようにしています。

【配慮の必要な子どもへの対応】 保護者の人や、子ども達に様子を聞いたり、自信が持てるように声かけをしてあげられるよう心がけています。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(-)人

地域の機関等との連携

【学校】 チラシの配布依頼・ポスター、見本の展示 【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域が主催する事業・祭りなどとの合同開催することもある。

【企業・大学】無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】: 子ども達との交流やいろいろな体験の場を提供できてよかった。今後も子ども達がいき いきと活動できる講座を考えていきたい。

【子どもの声】: 「毎回楽しみにしている」「スポ少や習い事でこれなくて残念」

【保護者の声】: 子どもと一緒に参加してくれる保護者の方もおられ、関心を持ってくれている。「工作

をしたのは何年振りだろう」「とても楽しい」などととても喜んでくれている。

【スタッフの声】: 今後もさまざまなジャンルの中から、子ども達が興味を持つような講座を考え、子ども

達の活動の場・体験の場を提供していきたい。

土曜学び座 びわ北・びわ南小学校区

実施場所	学校内	-	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	13 日
大心物的	学校外	•	/口到0/1寸以	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	1日

動 容

〇工作

ネイチャークラフト、平面キューブ、砂絵など

ネイチャークラフト



枝木や木の実と人工物を組み合わせて自由に工作 する。毎年恒例の講座で、回を重ねるごとに個性 的な作品がたくさん作られる。自由な発想で作れ るので、みんなが待っていてくれる講座である。

○体験 新春お楽しみ会、遊びのフリマ

○料理 ティラミス、おにぎり

○スポーツ バドミントン

バドミントン



基礎から教えてもらい、最後は講師の方と打ち合 いをしてもらう。スポーツの講座は参加者が少ないが、バドミントンは身近なスポーツということ もあり参加者も多く、今後も続けて行きたい。

教室の実施場所

びわ公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学校1~6年

【参加人数】 平日 土目•祝日 48.1)人 長期休暇 83.0)人 (

※1回あたりの平均参加者数

ーディネーターや地域の方々などの参加|

【採用·募集方法】

講座内容や参加人数によってその都度、地域の方 や公民館のボランティアグループにお願いする。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-		3	1
登録者数				

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【送迎】保護者の送迎

【緊急対応】安全管理マニュアルに基づき対応。ま た、申込書提出時に連絡先の記入をお願いしてい る。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (−)人

地域の機関等との連携

【学校】予定表の配布・申込書の回収

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】 無し

【地域】無し

【企業・大学】無し

【その他】 ボランティアグループ『サークル・キラ リびわ』

事業を実施して

【成果と課題】: 『成果』毎回多くの児童が参加してくれる。

『課題』事業によっては多くのスタッフを必要とする。ボランティアスタッフの増員方

策について組織化するなど、研究の必要がある。

【子どもの声】: 「次はなにするの?」「バドミントンまたやって!」

【保護者の声】: 「普段体験できないことができてよかった。」

【スタッフの声】: 今後も多くの子どもの居場所となるような講座を企画したい。

土曜学び座

虎姬小学校区

実施場所	学校内	-	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	17 日
大心物的	学校外	•	/百到0/1寸取	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	

活動内容

- ○ものづくり(ネィチャークラフト、紙粘土)
- ○エコ学習(ふうりんづくり)
- ○スポーツ(卓球、ボウリング)
- ○料理 (バウムクーヘン、和菓子など)





教室の実施場所

虎姫公民館、虎姫中学校体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学1年~6年

【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (15.5)人 長期休暇 ()人

31に関する () 人) 人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	_	-	2	1
登録者数	_	_		

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理•配慮事項

【送迎】 保護者の送迎

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応している。毎回、参加者(保護者)の緊急連絡先の提出をお願いしている。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (−)人

地域の機関等との連携

 【学校支援地域本部】
 無し

 【児童クラブ】
 無し

 【地域】
 無し

 【企業・大学】
 無し

 【その他】
 無し

事業を実施して

【成果と課題】:参加してくれた子どもたちは喜んで帰っていく。高学年の参加が無い。材料費が高いと

参加が少ない。部屋の中でのプログラムには限りがあり、なかなか参加者が集まらな

V,

【子どもの声】: 物づくりが好きだから、また来るね。と言ってくれる男の子もいる。

【保護者の声】: 楽しいのに。もっと参加があるといいですね。

【スタッフの声】: スポ少に1年生から加入している子どもがいるし、3年生以上となると50%を超えて

いる。必然的に参加率が下がる。室内での活動だけでなく野外での活動も取り入れるプ

ログラムができないか模索している。

土曜学び座

湖北小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	Δ	年間開催日数	20 日
大心物川	学校外	•	/口到0/1寸以	プログラム型	•	加住口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	3 日

活動内容

- ・造形あそび教室(公民館教室で自主事業) 毎月第1土曜日開催。
 - 4月フィルムケースを使ってはんこ
 - 5月マーブリング絵の具を使って紙染め
 - 6~8月染め紙を使って、ステンシルローラー
 - 9・10月粘土でお菓子つくり
 - 11月指先に絵の具をつけて絵を描く
 - 1 2 月 ちぎり絵
 - 1月スチレン版画
 - 2月



・ 土曜学び座

毎月1~2回開催。

- 4月アイロンビーズ
- 5月バスボム
- 6月大豆でかりんとう(湖北の特産を使う) マグネットクリップ
- 7月染め紙でうちわ
 - 手話教室
- 8月サンドブラスト (親子で参加) しゃぼん玉とスライム
- 9月勾玉作り
 - 手作り月見だんご
- 10月ボンボンマスコット ランプシェード
- 11月ケークサレで簡単ブランチ 来年のカレンダー作り
- 12月チャンバラフィットネス
- 1月デコスイーツ
 - ホールで遊ぼう
- 2月海苔巻きで節分
 - おひなさまつくり
- 3月ホワイトデーのお菓子





教室の実施場所

湖北公民館(厨房・会議室・工房・和室) 湖北文化ホール

参加対象学年・参加人数

【対 象】1~6年生

【**参加人数**】 平日 土日•祝日 (30)人 (32.5)人

長期休暇 (15)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

特になし

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-		2	1
登録者数	5		2	11

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる 安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の方に部屋までの送迎をお願い し、直接、保護者の方に子どもを引き渡し、併設 施設で待たせることは一切お断りしている。

【緊急対応】職員が普通救命講習を受講している。 救急箱・AED装置を常備している。連絡先は周 知している。

【配慮の必要な子どもへの対応】 必要な場合は保護者から対応方法を聞いておく。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 課題があれば連絡をとる

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域で活躍されている方・団体を講師に 依頼する。

【企業・大学】 出前講座を依頼する企業がある 【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】: 講座によっては高学年の参加もあるので、内容の程度に差が必要な時がある。工作系の

講座はかなり人気が高く、ホールを使用する事が増えた。スポーツ系の講座のあり方を考える必要がある。低学年の参加が多く、どうしても手をかけがちになるが、できるだけ子どもの自主性を重んじ、達成感を味わえる活動にしていく。

【子どもの声】: ・何でもやってみたい。・美味しかったから家でも作ってみたい。・お母さんに見せて

あげる!・もっといっぱい作りたい。・スポ少が無い時は行く。 【保護者の声】: 家では材料を揃えるのも大変だし、広々とできないので、色々体験させていただけて嬉

しいです。 【スタッフの声】: それぞれが一生懸命取り組んでいる姿や楽しそうにしている様子をみると嬉しくなる。

せっかく3小学校が寄っているので、もっと異小学校同士や異学年の交流が自然とできる場になればと思う。

長浜市 土曜学び座 高月(富永・高月・古保利・七郷)小学校区

実施場所	学校内	-	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	17日
大心物的	学校外	•	/口到0/1寸以	プログラム型	•	用住口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	

「日本のことを知ろう、見よう、やってみよう!」をテーマに日本らしさに挑戦しています。 ○古来より稽古ごとと呼ばれた伝統文化から、生 け花、茶道、日本舞踊の教室を開催。師匠(講 師)には高月公民館で活動する各サークルの方々 に依頼。礼儀作法から習いました。



○日本の工芸からちぎり絵・染色にも挑戦しまし た。美しい作品ができあがりました。



○日本の食文化にも注目し、身近な食べ物の中か ら豆腐と蕎麦を取り上げ手作りの味を楽しみまし た。また祭りには欠かせないみたらし団子も作っ て、みんなで美味しくいただきました。

○1月には「お正月あそびを楽しもう」と称して 昔の正月遊び、かるた・こま回し、羽子板などを やってみました。日本の昔の遊びも結構楽しめま した。



教室の実施場所

高月公民館(長浜市高月町渡岸寺141-1)

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学校全学年児童 【参加人数】平日 土目•祝日 17)人 長期休暇)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加|

公民館サークル代表者会議を開 【採用·募集方法】 き、趣旨を説明、講師の依頼。特技としている人 へ直接指導

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	_	1	ı	4
登録者数	_	_		-

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理•配慮事項

【送迎】 保護者による送迎

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づ き対応。申込時に個々の連絡先を把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (-)人

地域の機関等との連携

【学校】 富永・高月・古保利・七郷小学校

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】

【地域】 高月地域づくり協議会

【企業・大学】 無し

【その他】

事業を実施して

【成果と課題】: 年間を通してテーマと日程を決め取り組んだことで、ぶれずに深めることができた。講師も公民館サークルの方々に依頼したことで、地域の子どもたちとの交流ができ両方に

良い体験となった。

【子どもの声】: むずかしいところもあったけど楽しかった。

【保護者の声】: 子どもと一緒に参加でき、日本文化をの素晴らしさを改めて知ることができました。

近年、住まいを始め生活に「和」が無くなりつつあり日本の伝統文化を活かす場面が少 なくなってきています。次世代に意識してつなげていく努力が必要になりました。

【スタッフの声】: 今年度学び座で取り組んだことで少しは子どもたちに日本の良さを感じてもらえたかど

うか楽しみです。

土曜学び座

木之本小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	14 日
大心场所	学校外	•	/ 直到の行取	プログラム型	•	用住口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	1日

活動内容

月2回を基本として、その内1回をキッズアートグループの協力を得て実施。テーマとして自由に描く・創る・表現する事で、アートの力を借りて自分自身を大切にする心・仲間を思いやる心を育んでいます。

もう1回は紙・自然・布・糸等を使い、また、スポーツなどを取り入れ体験学習を中心に行っています。







教室の実施場所

公立木之本公民館

参加对象学年•参加人数

【対 象】1~6年

【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (9.7)人 長期休暇 (9)人 ※1回あたりの平均参加者数

7. TI GOTO 1 1 1 1 2 7 7 1 1 3 7

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 無し

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	-	1	1~2
登録者数	-	-	-	-

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【送迎】 保護者での送迎

【緊急対応】 公民館で応急処置をし、保護者に連絡 する

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(-)人

地域の機関等との連携

【学校】 無し

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】: 高学年が低学年に優しく教えることが出来、学年に関係なくみんな仲が良い。

参加者が固定化している。

【子どもの声】: いろんな物が作れてうれしい、毎回楽しみにしている。

【保護者の声】: 親同士の交流も出来て良い。

【スタッフの声】: 子どもが笑顔で帰っていく姿を見ると、こちらもうれしくなる。

地域のボランティアの発掘が必要。

土曜学び座

余呉小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	15 日
大心物的	学校外	•	/口到0/1寸以	プログラム型	•	用任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0日

【対

活動内容

教室の実施場所

4月

「みにみにミニチュアクッキング」

5月

「ツクル・アソベルキューブパズル」

「おっ、おにぎりなんだな・・・」

6月

「たまごKARAマスコット」

「あめとたこ?」

7月

「しゃぼんだまづくし」

「ブロックDEペーパーウエート」

9月

「ハッピーフェイスのマグネット!作るッピー」

10月

「かぶるんジャー1」

「かぶるんジャー2」

11月

「プラバンでオリジナルmyストラップを作ろう

よ!」(はごろもアートフェスティバル)

「いもーいもーやきいもやでー」

12月

「クリスマスお楽しみ会」

1月

「体をつかってあそびましょ~」

2月

「そば打ち体験」





余呉文化ホール

参加対象学年・参加人数

象】 余呉小学校1~6年生

【参加人数】平日 (土目·祝日 (20

土日・祝日 (20)人 長期休暇 (0)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

無し 参加の保護者が協力

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-	-	2	-
登録者数	_	_	_	_

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

原則として保護者で送迎。毎月その事を掲載。

【緊急対応】

「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(-)人

地域の機関等との連携

【学校】毎月チラシ配布、参加申込書回収箱を依頼 【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域行事や園、小学校との調整

【企業・大学】 無し

【その他】 青少年育成、文化芸術協会、社協との連携

事業を実施して

【成果と課題】: 楽しい中にもルールーや助け合いの大切さを学んでくれたと思います。

【子どもの声】: 「楽しかったー!」「がんばった!」

【保護者の声】: 「(子どもが)楽しみにしてるよ。」

【スタッフの声】: 地域の方々の協力を得ながら、色々なことを計画していきたいと思います。

長浜市 土曜学び座 西浅井(塩津・永原)小学校区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日		年間開催日数	14 日
天心场门	学校外	•	が到り付取	プログラム型	•	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	2 日

活動内容

毎月1~2回開催

- ふる一つ大福づくり
- ・お琴をひこう
- ・アートバルーンにちょうせん
- 七夕ささかざりとデザートづくり
- ・スイーツデコ
- グラスデコ
- ·3Dアートおめんづくり
- ・デコパージュせっけんづくり (西浅井文化祭、土曜学び座体験コーナー)
- 手作りボンボンでマスコットづくり
- おもちつき大会
- 肉まんづくり
- ・ひな人形づくり
- ・カレンダーづくり

アートバルーンにちょうせん



お琴をひこう



教室の実施場所

西浅井公民館

参加対象学年•参加人数

【対 象 】 小学生1年~6年

【参加人数】 平日 土目•祝日

0)人 18, 1)人

エロ・祝日 (18, 1) 人 長期休暇 (18, 5) 人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

特に行っていないが参加人数や講座の内容によってコーディネーターや地域の方のお手伝いをお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	-	1	3	1
登録者数	-	-	_	-

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

基本的に保護者の送迎

【緊急対応】

土曜学び座安全管理マニュアルに基き対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】

無し

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(1)人

地域の機関等との連携

【学校】 塩津・永原小学校〜チラシ配布、申込み受け付け

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】無し

【地域】青少年育成会・子ども会・老人クラブ

【企業・大学】無し

【その他】

事業を実施して

【成果と課題】: 土曜学び座は定着してきているが、参加人数が少ないことや参加者が限られてきている

ことが課題。

【子どもの声】: 「参加してよかった」「いつも楽しみにしている」

【保護者の声】: 「いつも楽しみにしています」という声もある一方で「送り迎えができず参加できな

い」という声も多い。

【スタッフの声】今後も子どもたちの居場所として、また地域の方々とのふれあいの場としても参加を呼

: びかけたい。

栗東市

1 運営委員会組織

運営委員会名

栗東市地域教育協議会

委員数 (16)人

構成委員 (所属・役職名)

連絡先

栗東市教育委員会 生涯学習課

TEL 077-551-0496 FAX 077-552-5544

E-mail syogaigakusyu@city.ritto.lg.jp

各学区地域教育協議会またはふれあい子ども広場スタッフ、学童保育所、校長会 PTA連絡協議会、民生委員児童委員協議会、社会教育委員、子育て応援課、学校教育課

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協議内容
1	8月27日 (月)	11人	平成23年度「放課後子ども教室」推進事業報告及び決算 平成24年度「放課後子ども教室」推進事業計画及び予算 「放課後子ども教室」の現状 「放課後児童健全育成事業」との連携
2	3月		平成24年度「放課後子ども教室」の実施結果について 平成24年度「放課後子ども教室」のアンケート結果 次年度「放課後子ども教室」推進事業について 「放課後児童健全育成事業」との連携

3 広報

参加者の募集チラシを各小学校へ配布。 コミニュティーセンター広報誌に支援者募集を掲載

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

- コミュニティセンターが、地域の支援者と栗東市地域教育協議会事務局・コーディネーターとのパイプ役、地域の支援者の相談役となっているところもある。
- 民生委員児童委員や体育指導委員のなかには安全管理員として登録してくれているかたもいる。
- 各小学校とは体育館の使用、備品の貸し出しや備品を置くスペースの提供、参加児童への呼びかけ、 次月案内文を月末に手渡ししているので欠席した参加者へ学校から渡してもらうことなどで協力し てもらっている。
- 学童保育指導者への研修会への参加の呼びかけ

5 スタッフの研修・ミーティングなど

<研修会 12月13日(木)>救命救急の講習 講師:消防署職員

対象:安全管理員、学童保育指導者

<ミーティング>月に一度程度、安全管理員が集まり活動内容について話し合う教室がある。

栗東市 葉山東ふれあい子ども広場 葉山東小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	•	年間開催日数	29 日
大心物的	学校外	•	/百到0/行取	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	_	うち長期休暇日数	0 日

活動内容



囲碁·将棋



クラフト

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③囲碁・将棋、クラフト、スポーツ ④お迎え

3グループに分かれて実施。「囲碁・将棋」「クラフト」はコミニュティーセンター 葉山東、「スポーツ」は体育館で行う。

「囲碁・将棋」は初心者向けの基礎、「クラフト」は折り紙、塗り絵、手芸など、「スポーツ」はドッジボール・縄跳び・バドミントン・卓球などを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。上級生は下級生のまとめ役をしてもら

教室の実施場所

参加对象学年•参加人数

【対 象】1~6年 【参加人数】平日 (27.3)人 土日・祝日 ()人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々に声をかけ参加しても らっている。参加している方に誘われて、来てくれる方も いる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	8	-	-	-
登録者数	14	-	_	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力など してもらうよう話をしている。月末に次月の案内 文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から 渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員・体育指導員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業·大学】 なし 【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取組となってきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動にな

るようにしていく。

【子どもの声】: 友達に会えて楽しい。お楽しみ会が楽しい。 【保護者の声】: 地域のかたとふれあえるいい場所だと思う。

【スタッフの声】: 安全面に気をつけて元気に活動してほしい。行儀などの意識も持たせたい。

栗東市 はるたっこ広場 治田小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	•	年間開催日数	27 日
大心物的	学校外	•	活動の特徴	プログラム型	Δ	加住口	土日·祝日	-	うち長期休暇日数	0 日

活 動 内容



自由に遊ぼう



いろいろつくろうよ

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 自由遊び ⑤お迎え ③ラジオ体操 ④

授業終了時間が早い低学年はコミニュ ティーセンター治田に集まる。体育館が空 いたら移動。

主に縄跳び・バドミントン・ボール投げ・ 折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由 に選択し遊ぶ。

スタッフの考えた遊びや季節の催し(七 タ・クリスマスなど)も計画して取り入れ ている。

教室の実施場所

治田小学校体育館・コミニュティセンター治田

参加対象学年・参加人数

【対 **象**】 1~6年 【参加人数】 平日

平日 (49.2)人 土日·祝日 ()人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	6	1	ı	ı
登録者数	7	1	ı	ı

安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えが参加条件になっている 【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。 怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらうよう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取組となっ

てきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動にな

るようにしていく。

【子どもの声】: ボール遊びや折り紙などが楽しい。スタッフの人が遊んでくれて楽しい。

【保護者の声】: 元気に遊んで子どもも楽しそう。

【スタッフの声】: 安全に配慮し子ども達を自由に遊ばせたい。

栗東市 チャレンジはるひがっこ 治田東小学校区

実施場所	学校内	•	汗動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	•	年間開催日数	27 日
大心物的	学校外	Δ	心勤の付取	プログラム型	Δ	加压口	土日·祝日	1	うち長期休暇日数	1日

活動内容



話をするときはちゃんと聞く



お楽しみ会もあるよ

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③ラジオ体操 ④ 自由遊び ⑤お迎え

主に縄跳び・バドミントン・ボール投げ・折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。

季節の催し(七夕・クリスマスなど)も計画して取り入れ、お誕生日のお祝いもしている。

教室の実施場所

治田東小学校体育館 コミュニティセンター治田 東

参加対象学年•参加人数

【対 象】1~6年

【参加人数】 平日 (40.4)人 土日・祝日 (40.4)人

長期休暇 (42.0)人 ※1回あたりの平均参加者数

《1回*的*/2907中均参加有数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々、保護者の方に声をかけ参加してもらっている。参加している方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	6	-	ı	-
登録者数	9	-	_	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】保護者の迎えが参加条件になっている。

【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。 怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらうよう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】

なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取組となっ

てきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動にな

るようにしていく。

【子どもの声】: ボール遊び、折り紙などが楽しかった。スタッフの人が遊んでくれて楽しい。

【保護者の声】: 異学年の交流ができる場所でいいと思う。

【スタッフの声】: 安全に気をつけて子ども達にいろいろなことを体験させてあげたい。

栗東市 治西のびのび広場 治田西小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	•	年間開催日数	28 日
天心物仍	学校外	•	/百到0/行14	プログラム型	•	州准口	土日·祝日	Δ	うち長期休暇日数	5日

活 動 内 容



始まりと終わりにあいさつをします



牛乳パックで工作中

【スケジュール】

①出席確認 ②活動 ③お迎え・分団下 校・地域のかたと帰宅

ニュースポーツ、工作、季節に合わせた催 し、平和学習、地域の祭りで合唱の発表な どを行う。

教室の実施場所

治田西小学校体育館 コミュニティセンター治田

参加対象学年•参加人数

象】1~6年 【対

【参加人数】平日 (35.2))人 土目•祝日 (30.1)人 長期休暇 (32.1)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加|

【採用・募集方法】地域の方々、保護者のかたに声を かけ参加してもらっている。参加している方に誘 われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	管理員 学習アドバイザー 7		講師
1日あたり	7	-	-	ı
登録者数	17	-	-	ı

安全管理•配慮事項

【送迎】保護者のお迎え、分団下校、地域の方が付 き添って帰宅する方法をとっている。

【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電 話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。 怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学 校の保健室で対応を依頼することもある。安全管 理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

保護者、安全管理員が付き添っている

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(2)人

地域の機関等との連携

【学校】 児童への開催案内作製・配布 活動の計画立案

【学校支援地域本部】

なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コ ミュニティセンターと連携してスタッフとの仲 介・道具の保管などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流ができている。学校・地域・保護者が連携して子どもを育てる取組となってきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続した活動とな

るようにしていく。

【子どもの声】: ニュースポーツが楽しかった。

【保護者の声】: いろいろな体験をさせてもらえてよかった。 【スタッフの声】: 子ども達が楽しく活動できるようにしたい。

栗東市 わくわくタイム 大宝小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	•	年間開催日数	22 日
天心场仍	学校外	-	/ 自 期の 付 取	プログラム型	•	刑准口	土日·祝日	_	うち長期休暇日数	0 日

活動内容



優しく教えてくれるよ



けん玉できるかな

【スケジュール】

①出席確認②宿題③ラジオ体操④メニュー遊び⑤ドッジボール⑥お迎え

紙飛行機、七夕飾り・クリスマスリース作りなど季節に関係する工作やじゃんけんリレー、グラスゴルフ、大玉ころがしなどの運動を子どもたちの要望をもとにスタッフで計画し実施。上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。

教室の実施場所

大宝小学校体育館

参加対象学年•参加人数

【対 象】1~3年

【参加人数】平日 (44.3)人 土日·祝日 ()人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	8	1	ı	ı
登録者数	10	1	ı	ı

安全管理 • 配慮事項

【送迎】保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。 怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらうよう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業·大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取組となっ

てきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動にな

るようにしていく。

【子どもの声】: いろんな遊びができて楽しい。ドッジボールが楽しい。

【保護者の声】: 地域のかたとふれあえていい場所だと思う。

【スタッフの声】:子どもたちがたくさんの経験を怪我なく活動できるようにしたい。

栗東市 大宝西ふれあい子ども広場 大宝西小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	•	年間開催日数	31 日
天心物的	学校外	•	/百到の行刊	プログラム型	•	州唯口	土日·祝日	_	うち長期休暇日数	0 日

活動内容



いっしょに遊ぼう



ランドセルや帽子はカゴに入

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③自由遊び④お迎え

主に縄跳び・バドミントン・ボール投げ・ 折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由 に選択し遊ぶ。

季節の催し(七夕・クリスマスなど)、平 和学習なども取り入れている。上級生は下 級生のまとめ役をしてもらう。

教室の実施場所

大宝西小学校体育館・コミニュティセンター大宝 西

参加対象学年•参加人数

【対 象】1~3年 【参加人数】平日 (50.1)人 土日・祝日 ()人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	12			
登録者数	16			

安全管理•配慮事項

【送迎】保護者の迎えが参加条件になっている 【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。 怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらうよう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業·大学】 なし 【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取組となっ

てきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動になるようにしていく。

るようにしている。 【子どもの声】: いろいろなことが体験できて楽しい。スタッフの人と遊んで楽しい。

【保護者の声】: 子どもが楽しそうでよかった。

【スタッフの声】: 怪我なく楽しい場所にしていきたい。

栗東市 さんさんキッズ 大宝東小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	•	年間開催日数	25 日
天心场内	学校外	-	/百到(7)行(以	プログラム型	-	刑准口	土日·祝日	_	うち長期休暇日数	0 日

活動内容



元気においかけっこ



おりがみ

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③ラジオ体操 ④自 由遊び⑤お迎え

体育館でドッジボール・バスケット・フラフープ・縄跳び・ボール遊び、コミュニティルームで本読み・折り紙・お絵かきなど子どもたちが自由に選択し遊ぶ。

教室の実施場所

大宝東小学校体育館

参加对象学年•参加人数

【対 **象**】 1~3年 【参加人数】 平日

平日 (36.1)人 土日·祝日 ()人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	安全管理員 学習アドバイザー		講師
1日あたり	9	1	ı	ı
登録者数	14	-	-	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしてもらっている。 怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力など してもらうよう話をしている。月末に次月の案内 文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から 渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】民生委員の方が参加してくれている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取組となっ

てきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動にな

るようにしていく。

【子どもの声】: ボール遊び、折り紙が楽しい。スタッフの人が遊んでくれて楽しい。

【保護者の声】: 楽しく遊べる場であってほしい。

【スタッフの声】: 安全面に気をつけて遊べるようにしたい。

甲賀市

1 運営委員会組織

運営委員会名

甲賀市放課後子どもプラン 運営委員会

委員数 (11)人

構成委員 (所属・役職名)

連絡先

甲賀市教育委員会 社会教育課

TEL 0748-86-8021 FAX 0748-86-8380

E-mail koka30104500@city.koka.lg.jp

放課後児童クラブ関係者、社会教育委員、PTA 役員、民生委員児童委員、主任児童委員、 学校関係者、行政職員

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協議内容
1	3月実施予定		実績報告と次年度の予定

3 広報

小学校を通じ募集チラシの配布 自治会に開催のお知らせ

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

特になし

5 スタッフの研修・ミーティングなど

自然体験活動担当職員研修

- ①KYT(危険予知トレーニング)による安全意識の向上
- ②事業実施における責任体制と書類および下見の必要性 ~自然体験活動事業の企画から事業評価のポイントについて~
- ③野外等における危険要素~応急手当から救急措置まで~
- ④子どもたちの安全な自然体験活動の実施に向けて(実技研修) ~アイスブレイク、危険予知トレーニング、野外炊飯等~
- ⑤子どもたちの安全な自然体験活動の実施に向けて(実技研修) ~危険予知トレーニング、着衣泳法~
- ⑥甲賀市青少年活動安全誓いのつどい「安心安全のまちづくり」

甲賀市水口子ども教室 水口・綾野・貴生川・伴谷・岩上小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	21 日
天心场別	学校外	•	/ 自動の付取	プログラム型	•	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	8 日

活 動 内 容

【親子ふれあい講座】

・皮革で遊ぼう、曳山に乗って水口囃しを体験し よう、お茶染めハンカチ作り、里山で見つける夏 の虫たち、タヌキ作り、クリスマスクッキーを作 ろう、木工工作を体験しよう。

【子ども公民館講座】

・皮革で遊ぼう、曳山に乗って水口囃しを体験し よう、お茶染めハンカチづくり、たぬき作り、ク リスマスケーキを作ろう、木工工作を体験しよ う。







教室の実施場所

水口中央公民館、柏木公民館、貴生川公民館、水 口中部コミュニティセンター、みなくち子どもの

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校1~6年生

【参加人数】平日 土日•祝日 (15.1)人 長期休暇)人 (13.7)※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 小学校へのチラシ配布、市民セ ンター、公民館へのチラシ配布・ポスター掲示、 市民センターだよりへの記事掲載

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	-	ı	1
登録者数	-	_	-	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】 保護者に送迎をしていただいている。

【緊急対応】スタッフは、普通救命講習を修了。AED・救 急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をと る。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館 外事業においては、下見(事前現地確認)、下見報告書安全対 策計画書によりリスク管理を行う。その内容については、打合 せによりスタッフ間で共有する。

【配慮の必要な子どもへの対応】

保護者からの申し出により聞き取りを行う。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 把握なし

地域の機関等との連携

【学校】募集チラシの配布依頼

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】なし

【地域】講座開催場所

【企業·大学】 講座開催場所

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 甲賀市の伝統芸能や産業の体験を行い、甲賀市のことを知ってもらうきっかけになった。さらに地域間の人 の行き来、交流や郷土(地域)の人、モノを活かせる社会教育の推進をする。

【子どもの声】: ・もっと作ってみたい。・水口祭りはこんなことをするだなあと思いました。とてもむずかしかった。またやりた い。・皮革でこんなにいろいろなものが作れるなんて思いませんでした。・お茶でこんなにきれいな色が出 せるなんて。・はじめて土で作っておもしろかったです。

【保護者の声】: ・皮革を使って何かを作ることが全く初めてだったので、親子共とても良い経験になりました。・(曳山は)昔 は女の子が乗ってはいけないなど、最初の話を聞けて良かった。指導もやさしく内容もとても充実していた と思う。曳山に乗れて良かったです。・お茶できれいに染められるのに驚きました。また出来上がりが面白

く、予想もつかない形に染め上がり感激でした。・色々な虫や花を近くで見れて良かったです。虫を捕まえ る度に本当に詳しく説明して頂いて、驚くことばかりでとても楽しかったです。また家族で来たいです。・子

どもならではの発想力に驚きました。

【スタッフの声】: いろいろな体験を通して、自分を発見することや自分たちのまちをよくしたいという気持ち、また親子間の交 流や保護者の方には子どもの新たな長所を知るきっかけづくりにしていただければ幸いです。

甲賀市土山子ども教室 大野・土山・山内・鮎河小学校区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	1	年間開催日数	12 日
天心场内	学校外	•	/ 自動の付取	プログラム型	•	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	3 日

活動内容

■あいの土っこ"きらねっ人"いきいき活動

地域の大人が指導者・スタッフとなり、さまざ まな体験活動を行っています。

- ・特産品や季節に応じたおやつづくり
- ・作品制作(押花、デコパージュ、トールペイント)
- ・野外活動(東海道ウォークラリー、天体観測)
- ・ ふれあいあそび (カロム、紙芝居、お手玉)







教室の実施場所

公民館や小学校

参加対象学年•参加人数

【対 象】保育園児・小学1年~6年生 【参加人数】平日 (0)人 土日・祝日 (8.6)人 長期休暇 (8.5)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】ボランティアバンクに約30人の登録があり、事業への参加はその都度登録者に案内し、協力を求めている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1		4	_
登録者数	1		4	

安全管理 • 配慮事項

【送迎】保育園児や小学生低学年には、保護者のつきそいをお願いしている。

【緊急対応】AED・救急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業については下見を実施。

【配慮の必要な子どもへの対応】

特になし

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 未把握

地域の機関等との連携

【学校】 きらねっ人スタッフが小学校の生活科授業 に出向き、昔の遊びを指導することもある。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 参加の呼びかけ

【地域】 文化祭や区の祭など、地域の行事に参加することもある。

【企業・大学】 なし

【その他】 甲賀市レクレーション協会の事業にきら ねっ人スタッフが出向き昔の遊びを指導すること もある。

事業を実施して

【成果と課題】: 子どもたちの間では「きらねっ人」の名前が定着してきている。親子で参加する家庭も

あり、家族のふれあいの機会となっている。本事業はボランティアスタッフの力によって成り立っている。今後も活動を続けていくにはスタッフの後継者育成も必要となる。

【子どもの声】: 今日教わったことを家でもやってみたい。もっといろんなものを作ってみたい。

【保護者の声】: おうちではできない体験でよかった。

【スタッフの声】: 年々、参加者が減少する傾向にあるが、参加した子どものが「楽しかった」と言ってく

れる以上、今後も続けていきたい。また、内容がマンネリ化しているので、新しい体験

内容(活動)を取り入れるなど工夫が必要と感じる。

甲賀市信楽子ども教室 信楽・雲井・小原・朝宮・多羅尾小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日		年間開催日数	10日
天心场別	学校外	•	/直期の付取	プログラム型	•	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	1日

活動内容

《物づくり夢工房》

- ランプシェード作り
- ・万華鏡作り
- 木工細工
- クリスマスリース作り
- パズル作り

竺



《自然体験学習》

- ・川の生き物観察
- 牧場体験



教室の実施場所

信楽中央公民館 他

参加对象学年,参加人数

【対 **象**】小学生1~6年生 【参加人数】 平日 (

 平日
 (-)人

 土日・祝日
 (18.7)人

 長期休暇
 (35)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

特に募集はせず、特定の技術を持った人に個別に依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	_	ı	1
登録者数	_	_	_	_

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

保護者に送迎して頂いている

【緊急対応】

スタッフは、普通救命講習を終了。AED・救急箱を用意。保護者に事前に緊急連絡先を聞いておき、連絡を取る。館外事業については、下見を実施。

【配慮の必要な子どもへの対応】

保護者、学校から聞き取りを行い、個別に対応する。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】無し

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】無し

【地域】無し

【企業・大学】無し

【その他】無し

事業を実施して

【成果と課題】: 様々な講座を通して、参加児童それぞれの創意工夫を引き出せたことは成果として挙げ

られるが、対象学年が低学年(1年)~高学年(6年)と広く、成長度合が違う対象に

対してのスタッフの支援体制に難しさを感じた。

【子どもの声】: とても楽しかった、来年もやってほしい。

【保護者の声】: 講座に参加して、学校とは違った仲間づくりができたように思う。

【スタッフの声】:講座を通して、子どもならではの視点を発見したりして、逆に刺激になる部分もあった。

甲賀市甲南子ども教室 甲南第一・第二・第三・中部・希望ヶ丘小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	Δ	年間開催日数	23 日
天心物別	学校外	•		プログラム型	•	別准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	8日

活 動 内 容

- ①親子・家族のわくわく講座 6回/年
 - ・料理や工芸、工作などの共同体験を通 して、親子・家族のきずなを深める。

【パン屋さんでパン作り】



【かんたん燻製づくり】



- ②夏・冬のこども体験講座
 - ・子どもたちに体験と出会いの場を提供し 生きる力と知恵を育む。
 - ○連続講座(こども大正琴教室)
 - ○夏のこども体験講座(科学的要素を取り 入れたミニ実験とものづくりなど)
 - ○冬のこども体験講座(手芸やお菓子づく り、楽器演奏体験など)

【夏のこども体験講座】



教室の実施場所

- ·甲南公民館 ·杉谷公民分館 ·柑子公民分館
- ・かえで会館 ・甲南B&G海洋センター
- ・希望ヶ丘防災コミュニティセンター

参加対象学年•参加人数

象】①親子・家族のわくわく講座

4歳~小学3年生までの児童と保護者

②夏・冬のこども体験講座

小学3年生~小学6年生の児童

【参加人数】平日

14.0)人

土日·祝日

12.1)人

長期休暇

10.3)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

なし

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	1	ı	1
登録者数	-	-	-	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】・会場の校区外から参加する場合と小学2 年生 以下の子どもは保護者の送迎を条件として いる。

【緊急対応】・AED、救急箱を用意 ・保護者から緊 急連絡先を聞いておき、連絡を取る。・安全対策 マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。・ 館外事業については下見を実施。

【配慮の必要な子どもへの対応】

館外事業や試食等を伴う事業の場合は、事前に健 康調査票を提出いただき、アレルギー等について スタッフ間で情報を共有している。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 把握なし

地域の機関等との連携

【学校】 チラシ配布を依頼 【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 夏のこども体験講座では、毎年地元 の甲南高校の先生と生徒に講師や指導をお願い し、協力いただいている。

【その他】 保育園、幼稚園へチラシ配布を依頼

事業を実施して

【成果と課題】:・1回講座に参加した子どもや家族は、2回・3回と別の内容の講座にも参加し、ある 一定の満足度は得られていると感じるが、全く参加したことのない子どもや家族にどう

興味を持ってもらい、どう取り込むかが課題。

・今後も事業を継続して行い、地元の地域のことをもっと知ってもらえる機会を提供し ていければと考えている。

【子どもの声】:講師さんが優しくて、とても楽しかった。

難しいところもあったけど、できあがって楽しかった。

【保護者の声】:家ではなかなかできない体験でよかった。 おもしろく、ためになりました。

大人も楽しめたし、子どもがとても楽しそうでした。

【スタッフの声】: 今後も、1人でも多くの方に様々な出会いや体験の場を提供していければと思います。

甲賀市 甲賀子ども教室 大原・油日・佐山 小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	ı	年間開催日数	24 日
大心物门	学校外	•	/ 自動の付取	プログラム型	•	加住口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	4 日

活動内容

KOKA楽こども公民館

さまざまな文化活動を楽しく体験することを目 的に実施。

①お菓子づくり教室 4回

ものづくりに対する関心や興味を深めるととも に、仲間づくりを目的として実施。

②茶道教室 4回

伝統文化に対する関心や興味を深めることを目 的として実施。



③こども天文クラブ

天文知識の向上とともに子どもたちの親睦を深めることを目的に実施。かふか生涯学習館の天体望遠鏡で季節の星座や惑星などを見る。



④甲賀★忍者隊

自然体験やものづくりを通じて、創造性を育み、グループ活動をすることで自主性や協調性を育てる機会とすることを目的に実施。名札つくり、ダンボールオーブンで野外調理、電車を利用しての旅など。

教室の実施場所

甲賀公民館(かふか生涯学習館)、甲賀創健館

参加对象学年•参加人数

【対 象】小学1年~6年、中学1年~3年

(事業によって制限あり)

【参加人数】平日

土日·祝日 (16.5)人

長期休暇 (19.3)人

※1回あたりの平均参加者数

)人

コーディネーターや地域の方々などの参加|

【採用•募集方法】

ボランティアとして地域の方々に声をかけ参加 してもらっている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	1	1~3	1
登録者数	_	-	-	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

保護者に送迎していただいている。

【緊急対応】

AED、救急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業については下見を実施。

【配慮の必要な子どもへの対応】

対象の参加がないため、特に実施していない。 ②特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 募集にあたって、チラシなどを配布して もらっている。受講生名を各学校に連絡してい る。

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】: 継続して参加している子どもは学習が深まってきている。参加者の減少が課題である。

甲賀★忍者隊では講師がいないため継続して学習の積み上げができていない。また、ス

タッフも不足している。

【子どもの声】: 普段できない体験ができた。

【保護者の声】: 楽しく参加している。

【スタッフの声】: 安全な実施に心がけ、受講生は楽しく熱心に活動している。

野洲市

1 運営委員会組織

運営委員会名

野洲市地域教育協議会

委員数 (18)人 構成委員(所属・役職名)

連絡先

野洲市教育委員会 生涯学習スポーツ課 TEL 077-587-6053 FAX 077-587-3835

E-mail syougai@city.yasu.lg.jp

元野洲町教育委員会委員長、野洲市社会教育委員、野洲市青少年育成市民会議会長、野洲学区 青少年育成課委員、三上地域教育推進委員会地域教育推進サポーター、祇王学区青少年育成会 議副会長、篠原地域子ども教室運営協議会会長、北野学区青少年育成会会長、中里学区青少年 育成会議会長、野洲学区わくわく子どもクラブ事務局、三上地域教育推進委員会事務局、祇王 子どもクラブ事務局、篠原地域子ども教室運営協議会事務局、北野っ子フレンドリークラブ事 務局、中主地域子ども教室運営協議会事務局、小学校校長会、小学校教頭会

2 運営委員会の協議内容

□	実 施 日	参加人数	協議内容
1	6月8日	17名	(1)平成23年度 野洲市放課後子ども教室の実施結果について (2)平成24年度 野洲市放課後子ども教室実施状況について
2	2月実施予定	18名	(1) 平成 24 年度 野洲市放課後子どもプランの実施状況について て (2) 平成 25 年度 野洲市放課後子どもプランの概要について

3 広報

- ①参加者募集チラシ配布…各学区ごと、コミュニティセンターから小学校に配布
- ②参加者募集チラシ配布…各学区ごと、コミュニティセンターから学区内世帯に配布
- ③地域の青少年育成会議等に指導者・安全管理ボランティアの協力依頼
- 4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容
 - ・野洲市青少年育成市民会議・学区青少年育成会議・民生児童委員

- 健康推進員
- 体育振興会 等

5 スタッフの研修・ミーティングなど

地域子ども教室の諮問機関である『地域教育協議会』において、『オープンキャンパス』と 称した教室内容の相互見学会を、各学区ごと(7学区年1回・計7回)に実施している。

野洲市 中主子ども教室(中里) 中主小学区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	20 日
大心物的	学校外	•	/11 割の付取	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	4 日

活動内容

茶道クラブ





月1回活動。 裏千家の作法を学ぶ。

手芸クラブ





月1回活動。 糸の止め方など初歩から学び、簡単な作 品作りを行っている。

教室の実施場所

コミュニティセンターなかさと

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生以上

 【参加人数】平日
 (-)人

 土日・祝日
 (6)人

 長期休暇
 (6)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

中主地域の小学校全生徒へチラシ配布。学区自治会へチラシ配布回覧やポスター掲示を依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	_	-	-	1~2
登録者数	_	_	_	3

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

安全管理•配慮事項

【送迎】

保護者の判断にまかせている。

【緊急対応】スタッフは、基本的救急法講習を受講。救急箱は用意。保護者から連絡先を聞いておき、連絡する。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 教室のチラシの配布依頼。

【学校支援地域本部】 無

【児童クラブ】 無

【地域】 無

【企業·大学】 無

【その他】 無

事業を実施して

【成果と課題】: 子ども達に根付いているものもあるが、教室によっては参加人数が少ないこと。

【子どもの声】: できることが、楽しい。

【保護者の声】: 手軽に学ぶ機会があり、助かっています。

【スタッフの声】: 低学年の場合、集中力持続時間が短いため、あきさせない工夫が必要。

野洲市 中主子ども教室(兵主) 中主小学区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	55 日
天心物別	学校外	•	/百割の行政	プログラム型	•	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	14 日

活動内容

教室の実施場所

コミセンひょうず等



手漕ぎ船の体験

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学生~中学生

【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (38)人 長期休暇 (21)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】自治会長など地域の役員の方にお 手伝いをお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	0	0	1
登録者数	20	0	0	10

安全管理•配慮事項

【送迎】

出来るだけ保護者の方に送迎をお願いしている。

【緊急対応】

保護者の携帯番号を聞いておく。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 課題が出た時は連絡をする。

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】応援が必要な時に自治会にお願いする。

【企業・大学】 無し

【その他】青少年育成会議との連携

春の野草摘み

事業を実施して

【成果と課題】: 異学年が一緒に遊ぶことで思いやりの心が育まれるが同じ遊びが困難な場合もある。

【子どもの声】: 来年も教室に参加したい。

【保護者の声】: 子どもが楽しみにしているのでぜひ来年も教室を開催してほしい。

【スタッフの声】: ボランティアが定着しない地域性もあり、少人数のスタッフでの運営は厳しい。

野洲市 篠原地域子ども教室 篠原小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	90 日
大心物的	学校外	•	活動の特徴	プログラム型	•	加性口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	10 日

活動内容



①科学クラブ教室 楽しい実験・ものづくりなど いろいろな体験を通して科学について学んでみよ う!!ということで年間10回の活動を計画しまし た。小学3年生から6年生15名の参加者で実施。 ペットボトルで水ロケットを作って飛ばしたり なぜ船が浮く?水の性質の実験をしたり興味津々 (子ども15名参加) に学んでいます。 ②夏休みワクワク合宿 毎年好評となり、募集人 数もすぐに埋まる人気となっています。初めて親 と離れお泊りを経験する低学年の子どもたち。低 学年の子どもたちのお世話をする高学年の子ども たち。1年生~6年生の縦のつながりを大切に4 回目の実施となりました。 (子ども40名参加) ③子どもとサンタの夢パーティー 子どもたちに 夢を与えようと、自治会・PTA役員等の協力を 得て毎年実施しています。工作・ゲーム等で楽しく 盛り上りました。 (子ども119名参加)



教室の実施場所

コミュニティセンターしのはら

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校1年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (8)人

長期休暇 (29)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】青少年育成会議、地域子ども教室、センター職員、健康推進員等の中から事業規模、内容に照らして適任な方を支援者に依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1~2	1	40	1~2
登録者数	_	-	40	I

安全管理 • 配慮事項

【**送迎**】保護者による送迎、友達同士での自転車利 用

【**緊急対応**】緊急連絡先、健康状況調査票の提出により安全を第一に考え把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】保護者との連携を取っている。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(1)人

地域の機関等との連携

【学校】募集の段階で知らせている。

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】 連携あり

【地域】 学区自治連合会・学区老人会及び健康推進員による指導。更生女性会・小学校PTA役員・民生委員の協力を得ている。

【企業・大学】無し 【その他】

事業を実施して

【成果と課題】: コミセン以外のスポーツ活動・習い事により参加者が限定されてくる。

【子どもの声】:楽しかった・おもしろかった等、好評であった。

【保護者の声】: 感謝の声をいただいている。

【スタッフの声】:子どもたちの笑顔が最高!!子どもや保護者に喜んでもらえてやりがいを感じる。

野洲市 祇王子どもクラブ 祇王小学校区

実施場所	学校内	-	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	-	年間開催日数	65 日
大心物的	学校外	•	/百到0/1寸取	プログラム型	_	加性口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	4 日

活動内容

教室名 「よさこい妓王」

よさこいの音楽に合わせて踊る。

小学校1年から大人まで年齢の幅がある仲間同 士楽しく踊る。

地域のお祭りやイベントに参加してまちづくり の一助となっている。

老人クラブや中学校から教えて欲しいという依頼を受ける。





教室の実施場所

コミュニティーセンターぎおう

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校1年~6年 【参加人数】平日 (0)人 土日・祝日 (6)人 長期休暇 (65)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

地域の方々に声をかけ参加してもらっている

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	0	1	1
登録者数	7	0	1	7

安全管理•配慮事項

【送迎】

基本保護者が車で送迎。高学年児童は自転車

【緊急対応】

救急箱を用意。対応できない場合は救急車対応

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (-)人

地域の機関等との連携

【学校】 野洲市立祇王小学校

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 祇王学区青少年育成会議

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】: 課題は子どもの参加が非常に少ない。

【子どもの声】: 楽しい

【保護者の声】:

【スタッフの声】:参加者がもっと増える為に如何にすればいいのかが課題

野洲市 三上楽しいクラブ活動 三上小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	35 日
大心物门	学校外	•	加到の付取	プログラム型	•	一川住口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	2 日

活動内容

①楽しいクラブ活動「児童合唱団」

月2回のペースで練習。地域の音楽教室の先生の 指導のもと、イベント(『野洲文化芸術祭』、

『悠紀まつり』等の発表会を楽しみにして、練習 している。

②楽しいクラブ活動「茶道」

月1回の練習。季節に合わし『楽しいゆかた会』 や『悠紀まつり』では呈茶による学習発表をしている。





教室の実施場所

コミュニティセンターみかみ

参加対象学年•参加人数

【対 象】三上小学校 1~6年生

【参加人数】 平日 +日•祝日 0)人 11)人

土日·祝日 長期休暇

9)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】新学期の開始と同時に三上小学校を通じて「楽しいクラブ活動」の募集要項を全児童に配布。本人の調整で複数のクラブ活動にも参加できる。5月からの開始となる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	4			3
登録者数	4			

安全管理•配慮事項

【送迎】自転車・自動車・徒歩と様々な方法で来館する。文書等を発信するときは、「お子様の送迎よろしくお願いします」の旨書き添えるようにしている。

【緊急対応】クラブ中のちょっとしたアクシデントがあったときは、その旨保護者にも連絡している。 (軽い怪我程度は応急的な処置をすることもある)

【配慮の必要な子どもへの対応】特定して配慮が必要な子どもは把握していないが、集団を乱すなどの行動が顕著な場合は学校とも連絡を取り合いたいと考えている。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(わからない)

地域の機関等との連携

【学校】 三上小学校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 三上地域教育推進協議会

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: 縦の関係が上手に機能しているように思われる。クラブ中ではマナーや常識が身に付い

た。日常生活の場でも習慣化でできるようになればと期待している。

【子どもの声】: 異なる学年の子と友達になれた。大人とコミュニケーションが取れるようになった。

【保護者の声】: 約束時間を守り、思いやりのある子になった。楽しみを見つけられるようになった。

【スタッフの声】:子ども達の笑顔から元気をもらう反面、わずかな時間の中でも大切な子ども達をお預か

りしていることを念頭におきたい。また、地域サポーターの方々にも熱心に指導してい

ただき感謝している。

野洲市 野洲学区わくわく子どもクラブ 野洲小学校区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	19 日
大心物的	学校外	•	/ 自 期の 付 取	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	3 日

内

わくわくえてがみ

【対象】3年生から6年生 9回開催 5名



わくわくカロム①

【対象】1年生から3年生 7回開催 21名



わくわくカロム②

【対象】4年生から6年生 23名 7回開催



わくわくいけ花①

【対象】1年生から2年生 15名 8回開催



わくわくいけ花②

【対象】3年生から6年生 8回開催 15名



わくわく日本舞踊

【対象】1年生から6年生 12名 8回開催





教室の実施場所

野洲市コミュニティセンターやす

参加対象学年•参加人数

象】小学生1年生から6年生

(えてがみは、3年生から6年生))人 【参加人数】平日 土日•祝日)人 75

長期休暇)人 77

※1回あたりの平均参加者数

ディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 コミュニティセンターやすの広 報紙に募集掲載する。指導者及び安全管理員から の紹介。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	6	-	1	4
登録者数	6	_	_	4

安全管理・配慮事項

【送迎】保護者に送迎をお願いしている。

【緊急対応】参加児童・保護者名簿を作成し連絡を 取れる体制をとっています。また、不審者対策と して、さすまたを施設に常設している。応急処置 用の救急セット及びAEDを常設。

【配慮の必要な子どもへの対応】指導者に有資格者が在 籍するクラブもある。また、保護者と連携して対 応する。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 把握なし

地域の機関等との連携

【学校】募集チラシの全学年配布を依頼

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】カロム指導者、安全管理員として 参加してもらっている。

【地域】 指導者、安全管理員の情報の提供 【企業・大学】無し

【その他】

事業を実施して

【成果と課題】: 地域の高齢者との交流を深める事が出来た。指導者が高齢化しており、事業を継続する 為に次に後継者を探すのがむずかしい。異学年との交流。

【子どもの声】: 上手に出来たのがうれしかった。楽しかった。

【保護者の声】: 毎回が楽しみで参加させてもらっています。

【スタッフの声】: クラブ活動のなかで挨拶、後片付けを指導、皆で楽しく出来るようにしている。

野洲市 北野っ子フレンドリークラブ 北野小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	26 日
大心物的	学校外	•	/百到//1寸段	プログラム型	•	加任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	3 日

活動内容

- 1. 開催日、開催時間 土曜日 午前9時30分~11時30分
- 2. 教室名

囲碁 (3回/年)、将棋 (4回/年)、パソコン (3回/年)、工作 (2回/年)、料理 (2回/年)、百人一首 (1回/年)、絵画 (1回/年)、オセロ (4回/年)、菓子作り (1回/年)、グランドゴルフ (5回/年)

3. 教室風景



絵画教室(H24年6月30日)



工作教室(H24年12月1日)

教室の実施場所

コミュニティセンターきたの

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学生(内、学年範囲指定5回) 【参加人数】平日 (0)人 土日・祝日 (14)人 長期休暇 (15)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】北野小学校区青少年育成会が年間 計画策定時に、各教室の講師や安全委員を育成会 の役員や地域有識者に依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	5			
登録者数	21			

安全管理•配慮事項

【送迎】小学校1~2年生については、保護者の送 迎を要請している。

【**緊急対応**】緊急時は安全管理員がコミュニティセンターきたの事務局と連携して、迅速に対応する。

【配慮の必要な子どもへの対応】 配慮が必要な子どもの参加がある場合は、安全管理員が対応する。 ②特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】年間計画の開示、参加者募集 【学校支援地域本部】必要に応じて協力要請 【児童クラブ】 なし

【地域】北野小学校区青少年育成会(企画、実施)

【企業・大学】 なし

【その他】 必要に応じて地域有識者に協力要請

事業を実施して

【成果と課題】: ゆとり教育見直しや子どもの家との関連で、地域子ども教室の要否検討が緊急課題

【子どもの声】: (第3者にヒアリングを託したい。) 【保護者の声】: (第3者にヒアリングを託したい。)

【スタッフの声】:参加者が少なく、今後の継続性に懸念あり。

東近江市

1 運営委員会組織 運営委員会名

東近江市地域教育協議会

委員数 (24)人

構成委員(所属・役職名)

自治会連合会代表、青少年育成市民会議代表、PTA連絡協議会代表、子ども会連合会代表、 スポーツ少年団代表、子育て支援団体代表、公立小学校長会代表、公立中学校長会代表、 学校と地域を結ぶコーディネーター担当者代表 (小・中学校)

連絡先

東近江市教育委員会 生涯学習課

TEL: 0748-24-5672 FAX: 0748-24-1375 E-mail: syogaika@city.higashiomi.shiga.jp

各地区地域教育協議会代表(14人)

2 運営委員会の協議内容

□	実 施 日	参加人数	協議内容
1	5月30日 (水)	18人	●平成23年度事業報告・収支決算について●平成24年度事業計画(案)・収支予算(案)について●交流会各地区の活動を紹介、意見・情報交換
2	11月28日 (水)	13人 (委員以外 11人)	●公開研修会 「通学合宿☆その人気の秘密に迫る。 〜地域の教育力とは?その効果は?」 (滋賀県教育委員会生涯学習課社会教育主事 大辻 源 氏) 事例発表(2地区)、ワークショップ
3	3月(予定)	24人	●平成24年度活動報告と平成25年度の見通しについて●各地区取り組み状況の報告●意見・情報交換会

3 広報

学校や自治会、各地区コミュニティセンター通信などを通して活動案内を配布し募集する。 東近江市ホームページへ各地区の活動報告を掲載 東近江市ケーブルテレビ

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

特になし

5 スタッフの研修・ミーティングなど

特になし

東近江市蒲生マックスクラブ 蒲生東・西・北小学校区 朝桜中学校区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	47 日
大心物的	学校外	•	/ 自 期の 付 取	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	9日

活動内容

活動クラブ

- ①茶道クラブ (毎月第2土曜日)
- ②そろばんクラブ (毎月第2土曜日)
- ③くらふと☆デコ(年9回)
- ④蒲生野太鼓わらべ組 (毎週土曜日)
- ⑤キッズあかねGHOSHU(年17回)
- ⑥キッズダンス (毎月第3土曜日)
- ⑦ I Tキッズクラブ (毎月第3土曜日)
- ⑧KIDS FLOWER (年6回)
- ⑨陶芸クラブ (毎月第4土曜日)

活動時間帯

 $10:00\sim12:00$ $13:30\sim14:30$ $14:00\sim16:00$ $18:00\sim20:00$







教室の実施場所

蒲生コミュニティセンター

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学1年から中学2年まで 【参加人数】平日 (0)人 土日・祝日 (12.6)人 長期休暇 (12.6)人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

地域の方々に声をかけ参加してもらっている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1~6	1	2~4	ı
登録者数	36	-	1	-

安全管理 • 配慮事項

【送迎】送迎は保護者。迎えが遅い場合はボラン ティア当番が一緒に待つ。

【**緊急対応】指**導者・ボランティアスタッフには安全 管理マニュアルで指導。事務所には救急箱を用

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加申込時に保護者から聞き取りを行う。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (1)人

地域の機関等との連携

【学校】子どもたちへのチラシ配布や声掛けを依頼 【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】無し

【地域】地域のサークルに指導・安全監視をしても らう

【企業・大学】無し

【その他】無し

事業を実施して

【成果と課題】:違う学校や学年の人とも次第にコミュニケーションがとれるようになる。保護者の関わ

りを増やしていきたい。

【子どもの声】:違う学校や学年の友達が出来た。

【保護者の声】: 子どもが楽しそうに活動している。以前より積極的になった。

【スタッフの声】:子どもたちの1年間の成長ぶりが見られてうれしい。

米 原 市

米原市放課後安心プラン推進委員会

連絡先

米原市健康福祉部 こども元気局 TEL 0749-55-8104 FAX 0749-55-4040

E-mailkodomokatei@city.maibara.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (12)人 構成委員(所属・役職名)

米原市子ども会育成連合会代表、民生委員児童委員代表(2名)、放課後児童クラブ関係者 (2名)、放課後キッズ関係者(1名)、市民団体代表(3名)、校長会代表、学校教育課長、 こども元気局長

2 運営委員会の協議内容

□	実 施 日	参加人数	協議内容
1	9月27日	7人	・放課後安心プランの概要説明 ・放課後児童クラブ、放課後キッズに関する意見交換

3 広報(参加者や地域の支援者の募集、活動内容の広報など)

- ・年度当初に小学校を通じて全児童ヘチラシを配布し参加児童を募集。
- ・放課後キッズ通信を参加者に配布。
- ・米原市行政放送 (CATV) にて活動の様子を放映。

4 連携している関係機関、団体、指導者および連携・協力内容

- ・放課後児童クラブ指導員は参加者を把握し、案内ちらしの配付や保護者のお迎え時間の調整などを 行っている。また、活動場所への送迎や安心、安全に活動できる環境をつくっている。
- ・放課後キッズ事業は、民生委員・児童委員やシルバー人材センター、地域ボランティアの方々の協力を得て事業を実施している。

米原市 放課後キッズinまいはら 米原・息郷・醒井小学校区

実施場所	学校内	•	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	1	年間開催日数	9日
大心物的	学校外	•	/ 自割の付取	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容





ハ・ト・ミントソ・卓球・テニス・ト・ッチ・ビー・折り 紙・竹馬・ミニテニスなど好きなスポーツや遊びを楽しみました



運動会直前!かけっこ教室



うすと杵でお餅つき

教室の実施場所

市立醒井小学校・市立米原小学校すぱーく米原・醒井水の宿駅

参加対象学年・参加人数

【**対 象**】小学校1年~6年 【**参加人数**】平日 (

平日 ()人 土日・祝日 (17.0)人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

地域のボランティアさん、運営委員さんへの声かけ。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	5	1	3	1
登録者数	10	6	10	_

安全管理•配慮事項

【送迎】

保護者による送迎。グリーンのタスキで保護者確認。

【緊急対応】

参加者緊急連絡先名簿、携帯電話の所持。

【配慮の必要な子どもへの対応】 スタッフミーティングで共通認識し、保護者同伴参加も許可。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 各小学校・募集チラシ等配布

【学校支援地域本部】 無

【児童クラブ】 無

【地域】 各種団体・サークル

【企業・大学】 地元大学生

【その他】 無

事業を実施して

【成果と課題】: 他校の子と仲良く交流が出来るようになる。送迎が出来ない保護者の方への対応。 【子どもの声】: 普段出来ないテニスや卓球が上手になった。運動会が楽しかった。 (かけっこ教室)

【保護者の声】: 学校・地域の行事と重なってしまう。

【スタッフの声】: 学校では出来ない体験を、異年齢の子ども同士・地元のスタッフと楽しんでほしい。

米原市 放課後キッズinおうみ 坂田・息長小学校区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数 6日
天心场门	学校外	•	/ 自動の行政	プログラム型	•	川惟 口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数 2日

活動内容

①田植え体験とさつまいもの苗植え

どろんこ農園にて、田んぼに入り、苗を手で植えた。また、さつまいもの苗植えも実施。

②じゃがいもと玉ねぎの収穫&ピザ作り

どろんこ農園で収穫した、採れたての玉ねぎをトッピン グしたピザ作り。

③マサノヴァ・アート工作教室

電子部品を使ったロボットキャラクター作りに挑戦。

④やまんばの森でカヌー&ゴムボート

やまんばの森の池にて、カヌー(3年生以上)と、ボート (1・2年生)に乗り、窯で焼いたピザの試食。

⑤どろんこ農園祭

どろんこ農園で採れた野菜などを使った模擬店や、どろんこ農園に設置する看板の製作、宝探しや、的当てゲームなど、楽しい企画を実施。

⑥ロング巻き寿司作りに挑戦

農園で収穫したお米で、ロング巻き寿司に挑戦。



①田植え体験



②カヌー& ゴムボート体験 H24.8.18(土)



⑤どろんこ農園 (看板作り) H24.9.30(日)

教室の実施場所

- 近江公民館
- ・どろんこ農園(舟崎地先)
- ・やまんばの森(日光寺)

参加対象学年•参加人数

【対 **象**】小学校1年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (41)人 長期休暇 (37)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

地域のボランティアの方々や、ボランティアグループに声をかけて参加していただいている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	3	7 ~ 8	
登録者数	5	3	15	

安全管理•配慮事項

【送迎】 送迎は、必ず、保護者の方にお願いしている。開催地への送迎は地域防犯安全パトロール 隊員に依頼。

【**緊急対応**】保護者から緊急連絡先を聞いている。 何かあればすぐに連絡をし、対応を検討する。

【配慮の必要な子どもへの対応】

事前に健康チェックを行い、配慮が必要な児童に は安全管理員を配置。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 児童への募集チラシ配布依頼と、先生方に も実施内容の通知。

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】無し

【地域】 地域のボランティアさんに、その都度、声をかけて協力していただいている。

【企業・大学】無し

【その他】 どろんこの会 里山保全NPO法人やまんばの会

事業を実施して

【成果と課題】: 毎年、参加を希望する児童が多く、特に、核家族の多い団地に住む児童の参加が目立っ。普段、なかなか体験することのできない農業体験や自然体験への関心は、児童のみ

ならず保護者の間でも高まっている。また、スタッフサイドにおいても、地域の交流の 場のひとつとなり、この事業を通じて、青少年健全育成に熱心な、自立をされるボラン

ティア団体も出てきた。

【子どもの声】: 学校ではなかなか出来ないいろんな体験ができて楽しい。

【保護者の声】: 家に帰ってくると体験したことを楽しそうによく話してくれます。今後も続けていただ

きたい。

【スタッフの声】:子どもたちがのびのびと体験している姿が素晴らしい。学校では出来ない体験をどんど

んしていただきたい。

米原市 放課後キッズinきんせい 山東小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	Δ	開催日	平日	Δ	年間開催日数	9 日
大心物的	学校外	•	/百到0/1寸以	プログラム型	•	刑任口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

- ①さつまイモ苗植え付け
- ②うどん作り
- ③遠足(福井恐竜博物館と化石発掘体験)
- ④さつま芋収穫祭 焚き火での焼きイモ
- ⑤手品のネタつくり みんなマジシャン
- ⑥昔ながらの餅つき
- ⑦書と遊ぶ 墨汁で書く今年の一文字
- ⑧室内ゲームを楽しむ
- ⑨キッズ皿回し大会 優勝は誰の手に?



化石発掘



お餅つき



書と遊ぶ

教室の実施場所

米原市山東生涯学習センター

参加対象学年•参加人数

象】1年生から6年生

【参加人数】平日 20 (16.7)人 土日•祝日 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加|

【採用·募集方法】

地域の子どもに関心のある人や教職を引退された 方たちが昨年に引き続いて参加

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	8	2	0.6	0.5
登録者数	10	1	1	_

安全管理•配慮事項

【送迎】

学校休業日の実施のため保護者にて責任を持って 送迎

【緊急対応】

事前調査票により緊急連絡先等を把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

アレルギー等普段の留意点について把握。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 キッズ事業チラシ及び各回案内通知書を学校 を通じて保護者に配布を依頼

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】キッズと開設場所が同じため競合しない配

【地域】地域の活動団体等に講師依頼

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】: 普段あまり見せることのない心からの笑顔が多くみられた。異年齢交流が自然と行われ

ている。自主的に遊びを考えることが出来るようになった。現在プログラム型と自由活 動型の併用の形で活動しているが自由活動型で集団としての遊びが出来るような場であ

【子どもの声】: 自由遊びの時間が楽しかった。恐竜の化石発掘は面白かった。うどんをまた作りたい。

【保護者の声】: 家庭では出来ない体験が出来よかった。スタッフの皆さんに感謝です。

【スタッフの声】:子どたちの成長ぶりに自分の孫のように可愛い。こどもたちの高い能力に驚いた。子ど

もたちのうれしそうな顔をみると頑張ろうとおもう。あいさつがちゃんとできるように

なった。

米原市放課後キッズinジョイ 伊吹・春照小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	•	年間開催日数	9 日
大心物的	学校外	•	心動の付取	プログラム型	•	刑任口	土日・祝日	Δ	うち長期休暇日数	0 日

活 動 内容

第1回(5/30)

体育館で遊ぼう!

ティーボール,ドッジビー、リレーなど (伊吹山麓青少年総合体育館での活動)

第2回(6/20)

古代体験シリーズ1~古代の鏡を作ろう~ (伊吹山文化資料館での活動)

第3回(7/11) グラウンドゴルフを楽しもう

第4回(9/26)

昔の遊びを体験しよう

Sケン、竹馬、輪回しなど



第5回(10/24)

古代体験シリーズ2

~古代の骨のペンダントを作ろう~ (伊吹山文化資料館での活動)

第6回(12/12)

クリスマスケーキを 作ろう

※伊吹小児童対象 第7回(12/19)

カイ団(12/19) クリスマスケーキを 作ろう

※春照小児童対象



第8回(1/20)

かるた・百人一首大会&もちつき大会 (米原市青少年育成市民会議 伊吹支部との合同事業)

第9回(2/20)

室内ゲームを楽しもう

(伊吹山麓青少年総合体育館での活動)

教室の実施場所

米原市伊吹薬草の里文化センター 米原市伊吹山文化資料館 伊吹山麓青少年総合体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1~6年生

【参加人数】 平日 (43.6)人

土日・祝日 (30)人 長期休暇 (0)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】

青少年育成活動に携わる人への声かけによる

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	6~8人	1~2人	ı	ı
登録者数	8	2	-	-

安全管理·配慮事項

【送迎】必ず保護者の送迎による。 放課後児童クラブ参加児童は、クラブ指導員の引率による。

【**緊急対応】**救急箱の携行。緊急連絡先を児童名札の 裏面に記載し、緊急時に連絡を取る。

【配慮の必要な子どもへの対応】

必要に応じて、安全管理員が個別につく。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (0)人

地域の機関等との連携

【学校】募集ちらし、開催案内等の配布協力。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】クラブ指導員が子どもと共に参加する。

【地域】活動内容に応じて資料館や地域のボラン ティアサークルに協力していただいている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: スポーツ、物づくり、調理など様々な活動に取り組めた。高学年の児童を核に班編成を したことにより、異学年交流が進み高学年児童のリーダー性が育ってきた。

【子どもの声】:ケーキ作りが楽しかった。

Sけんで、思いっきりあばれて楽しかった。

【保護者の声】: 普段できないことを体験でき、子どもも喜んでいました。体を動かす遊びから手先を使

う工作まで毎回いろんな活動をさせていただいてありがとうございました。

【スタッフの声】:子どもたちの楽しそうな笑顔をみると、こっちまで楽しくなります。

けがや事故がなく実施できてよかったです。

竜王町

1 運営委員会組織

運営委員会名

公民館子ども教室運営委員会

委員数 (13)人

構成委員(所属・役職名)

教育委員(1名)、社会教育委員(1名)、地域住民(7名)、小学校校長(1名)、 小学校教員(2名)、元中学校教員(1名)

連絡先

竜王町教育委員会公民館

TEL 0748-58-1005 FAX 0748-58-1979

E-mail kouminkan@town.ryuoh.shiga.jp,

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協議内容
1	5月12日	13人	今年の取り組みについて 活動内容の確認 親子で参加できる活動の取り入れ
2	1月下旬	13人	今年度の反省および次年度に向けての課題と対策

3 広報

4月に参加募集チラシ配布

各クラブ活動内容は、公民館ホームページにより随時掲載

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

竜王小学校、竜王西小学校は:参加募集と発表会

竜王町教育委員会、みらいパーク竜王

→交流活動体験の支援協力

内容:発表会

5 スタッフの研修・ミーティングなど

研修会:①避難誘導訓練 対象:安全管理員、講師

竜王町子ども教室【チャレンジクラブ】竜王・竜王西小学校区

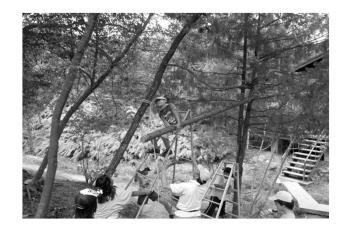
実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	_	年間開催日数	10 日
大心物门	学校外	•	万到の行政	プログラム型	_		土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

宿泊体験 (飯盒炊飯)



宿泊体験 (ロープワーク)



教室の実施場所

- ・妹背の里・希望ヶ丘文化公園
- ・琵琶湖博物館 ・今庄365スキー場

参加对象学年•参加人数

【対 象】小学校4年生~6年生

【参加人数】平日 ()人 土日·祝日 (16)人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			2
登録者数	3			2

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、 場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

- ・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
- ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校、中学校 1 校

【学校支援地域本部】 あり

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、 自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができ

7C。

- ・少子化による参加者数の伸び悩みと子ども達の興味をひく内容設定が課題。
- ・野外活動体験のリーダーがいないため、今後は、子ども会と連携協力しながら養成講座により人材育成を進めていく必要がある。

【子どもの声】: ・友達ができた。宿泊体験でいろんな事にチャレンジできてとっても良かった。

【保護者の声】: ・体験活動後に、家で今日の体験したことを生き生きと笑顔で話してくれる姿にこの教

室に参加させてよかったと思いました。

【スタッフの声】:・多くの子ども達に、様々な活動を楽しく、生き生きと体験してもらい、その体験や経

験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、

リーダーとして地域貢献できる人になれば幸せです。

竜王町子ども教室【デジカメパソコンクラブ】竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	-	年間開催日数	10 日
大心物的	学校外	•	/百到0/1寸取	プログラム型	•	加住口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

文字入力と表作成



イラスト・ポスター作製



教室の実施場所

• 竜王町公民館

参加对象学年•参加人数

【対 象】小学校3年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (5)人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			1
登録者数	3			1

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- ・保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、 場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

- ・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
- ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校 【学校支援地域本部】 なし 【児童クラブ】 なし 【地域】 なし 【企業・大学】 なし 【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】:・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができ

・少子化による参加者数の伸び悩みと習得したパソコン技能を発揮できる場所提供が課題。

【子どもの声】: ・友達ができた。パソコン操作が覚えられてよかった。

【保護者の声】: ・家のパソコンをよく利用するようになり、インターネットで調べものをしている姿

に、この教室に参加させてよかったと思いました。

【スタッフの声】:・多くの子ども達に、楽しくパソコン技能を習得してもらえてよかった。その技能を、

家族や友達にも教えてもらえれば最高です。

竜王町子ども教室【宇宙科学クラブ】竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	_	年間開催日数	10 日
天心场内	学校外	•	心到の付取	プログラム型	_	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

家族みんなで金環日食の観察



天体模型づくり



教室の実施場所

- ・竜王町公民館 ・妹背の里
- ・湖北野鳥センター ・教育センターほか

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校1年生~6年生 【参加人数】平日 (

土日·祝日 (17)人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用·募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			2
登録者数	3			2

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 湖北野鳥センター 教育センター

事業を実施して

【成果と課題】:・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができた。

・少子化による参加者数の伸び悩みと子ども達の興味をひく内容設定が課題。

【子どもの声】:・多くの友達と一緒に、天体観測や工作づくり、また自然観察ができて多くの事が体験

できたし、星の名前もわかった。

【保護者の声】: ・金環日食や夜空の星を見たことで、晴れた日の夜には、空を見上げて「あれは金星だ

よ」とか説明してくれるようになりました。

【スタッフの声】:・多くの子ども達に、様々な活動を楽しく、生き生きと体験してもらい、その体験や経

験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。

竜王町子ども教室【華道クラブ】竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	_	年間開催日数	10 日
天心场別	学校外	•	/ 自 期の付取	プログラム型	_	用准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

教室の実施場所

竜王町公民館

四季折々の生花



参加対象学年 · 参加人数

【**対 象**】小学校3年生~6年生 【**参加人数**】平日 (

 土目・祝日
 (7)人

 長期休暇
 (7)人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			1
登録者数	3			1

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- ・保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、 場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校 【学校支援地域本部】 なし 【児童クラブ】 なし 【地域】 なし

【企業·大学】 なし 【その他】 なし

親子でフラワーアレンジメント



事業を実施して

【成果と課題】: ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができた。

・少子化による参加者数の伸び悩みと子ども達の興味をひく内容設定が課題。

【子どもの声】: ・花の名前がわかったり、四季折々の花が生けられて良かった。

【保護者の声】: ・体験活動のお蔭で、家でも時々、花を生けてくれることがありとっても喜んでいま

す。また、親子でアレンジメントづくりに挑戦できてよかったです。

【スタッフの声】: ・子ども達に、花を生けることの素晴らしさをしってもらったり、親子で一つの作品を

完成させる協働作業ができてよかったです。

竜王町子ども教室【絵画クラブ】竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内		活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	ı	年間開催日数	10 日
天心场内	学校外	•	心動の行政	プログラム型	_	刑准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

デッサンをしよう



壁画アート作成



教室の実施場所

· 竜王町公民館 · 三井寺

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学校3年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (9)人 長期休暇 ()人

※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加|

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			1
登録者数	3			1

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- ・保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、 場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校 【学校支援地域本部】 なし 【児童クラブ】 なし 【地域】 なし 【企業・大学】 なし 【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】:・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができた

・少子化による参加者数の伸び悩みと子ども達の興味をひく内容設定が課題。

【子どもの声】:・公民館のキッズランドに壁画を描きました。これからもこの絵がずっと残るといい

なぁと思いました。

【保護者の声】: ・活動のお蔭で、家でも絵を描くようになり、鏡に映った自分を描いて楽しんでいる姿

を見たときは、感激しました。

【スタッフの声】: ・子ども達に、絵を描くことの素晴らしさを知ってもらえたことがありがたい。みんな

と一緒に、壁画アートができたこともよかった。

竜王町子ども教室【吹奏楽】竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴・	自由活動型	•	開催日	平日	•	年間開催日数	45 日
天心场内	学校外	•		プログラム型	_	刑准口	土日·祝日	-	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

演奏会に向けて猛練習



ステージ発表会



教室の実施場所

· 竜王町公民館

参加対象学年•参加人数

【対 象】小学校3年生~6年生 【参加人数】平日 (10)人 土日・祝日 ()人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			3
登録者数	3			4

安全管理•配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 みらいパーク竜王

【その他】 竜王町文化協会

事業を実施して

【成果と課題】:・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができた。

・少子化による参加者数の伸び悩みと子ども達に音楽の興味をひく機会づくりと保護者への平日開催の理解が課題。

【子どもの声】: ・人数は少ないけれど、みんなが、それぞれに好きな楽器を選んでアンサンブル演奏ができるようになり、いろんな発表会で上手に吹けてよかった。

【保護者の声】:・日々、家でしか楽器を一生懸命練習をしている姿を見ておりませんでしたが、演奏会

を見に行った時の子ども達の素晴らしい演奏を聞き、拍手をせずにいられなかった感動が今でものこっています。

【スタッフの声】:・毎日の練習の成果が、様々な舞台発表で発揮でき、子ども達のイキイキした笑顔に喜びた感じ、小人教でのアンサンブル溶素も思い思ってやってよかったよい。思いにひ

びを感じ、少人数でのアンサンブル演奏を思い切ってやってよかったという思いにひたっています。

竜王町子ども教室【和太鼓クラブ】竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	_	開催日	平日	_	年間開催日数	22 日
天心场内	学校外	•	万到の行政	プログラム型	•	洲准口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

発表に向けて猛練習



ステージ発表



教室の実施場所

• 竜王町公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学校1年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (19)人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			1
登録者数	3			1

安全管理•配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、 場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 みらいパーク竜王

【その他】 竜王町文化協会、竜王町教育委員会

事業を実施して

【成果と課題】:・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができ

・子ども達の練習成果の発表機会の創出とコーディネートが課題。小学校1年生を対象にするには、体力技術指導に無理が生じる。

【子どもの声】: ・太鼓をバチでたたけるようになり、リズムよく演奏ができるまでになれてとっても良

かった。 【保護者の声】: ・活動後に、家で「バチをたたきすぎて、マメができた」、「今日は本番と同じように

練習してきた」という話を聞くと、一生懸命頑張っている我が子に益々、声援を送りたくなりました。

【スタッフの声】: ・和太鼓を通して、技能はもとより子ども達が自信に満ち溢れた姿と仲間同士が助け合う姿が最高です。

竜王町子ども教室【書道クラブ】竜王・竜王西小学校区

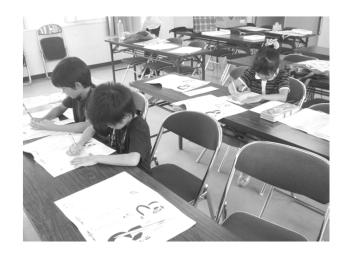
実施場所	学校内	_	活動の特徴	自由活動型	•	開催日	平日	_	年間開催日数	20 日
大心物的	学校外	•	/口到0/1寸以	プログラム型	-	加性口	土日·祝日	•	うち長期休暇日数	0 日

活動内容

毛筆の練習



硬筆の練習



教室の実施場所

· 竜王町公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】小学校1年生~6年生 【参加人数】平日 ()人 土日・祝日 (17)人 長期休暇 ()人 ※1回あたりの平均参加者数

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員などの情報により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2			1
登録者数	3			1

安全管理 • 配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- ・保護者への緊急連絡網作成。
- ・休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の健康状態を把握。その上で配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

地域の機関等との連携

【学校】 小学校 2 校 【学校支援地域本部】 なし 【児童クラブ】 なし 【地域】 なし 【企業・大学】 なし 【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】: ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、

自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけると共に、技能を伸ばすことができ

た。

【子どもの声】:・硬筆も毛筆でも文字が綺麗に書けるようになって良かった。

【保護者の声】: ・普段、鉛筆しか持たないため、毛筆が上手になればと思い参加させました。その甲斐

あって、筆の使い方も上手になりとても喜んでいます。

【スタッフの声】: ・子ども達が、文字を正しく丁寧に書けるようになり教室を開催してよかったと思いま

す。パソコン時代であるからこそ、文字を書く大切さが必要と思います。

1 放課後児童クラブ数実施状況

(1) 小学校の状況

小学校区数	228 か所	児童数	84,052 人
小学校1~3年生の総数	40,916 人	*4~6年	43,136 人

(2) 放課後児童クラブの概況

補助対象別クラブ数	国庫補助対象	大津市	市町単独実施	合計
無切刈 家加グ ノノ 数	203	57	6	266

(3) 放課後児童クラブの状況

				調	查項目	公立公	営	公立民営	民立民	:営	合	計
実	施	場	所	別	児童館・児童センター		0	3		5		8
放	課	後	児	童	学校の余裕教室		44	17		1		62
ク	ラ		ブ	数	学校敷地内専用施設		34	44		2		80
					公有地専用施設		23	45		1		69
					民有地専用施設		2	1		8		11
					民家・アパート		0	0		3		3
					公的施設利用		2	10		8		20
					団地集会室		0	0		0		0
					保育所		0	0		5		5
					幼稚園		1	4		0		5
					商店街空き店舗		0	0		1		1
					その他		0	0		2		2
					合計		106	124		36		266
登	録り		童 数	別	9人以下		0	2		2		4
放	課	後	児	童	10人~19人		7	11		8		26
ク	ラ		ブ	数	20人~35人		35	30		10		75
					36人~70人		60	73		13		146
					71人以上		4	8		3		15
					合計		106	124		36		266
					受入なし		21	28		16		65
放	課	後	児		1人		30	32		9		71
ク	ラ		ブ	数	2人		32	15		5		52
					3人		11	15		1		27
					4人以上		12	34		5		51
					合計		106	124		36		266
終	了	時	刻		$17:31\sim18:00$		78	19		3		100
放	課	後	児		18:01~18:30		28	39		6		73
ク	ラ		ブ	数	18:31~19:00		0	64		19		83
					$19:01\sim20:00$		0	2		7		9
					20:01~21:00		0	0		1		1
					合計		106	124		36		266
					土曜日 (毎週実施以外)	105	(2)	88 (18)	36	(2)	229	(22)
放	課	後	児		日曜・祝日		0	10		2		12
ク	ラ		ブ・・		長期休暇		106	104		36		246
学	年 另	ıj J	見 童	数	小学校1年生(障害のある児童)	1, 351	(61)	1,488 (54)	388	(5)	3, 227	
					小学校2年生(障害のある児童)	1, 216	(49)	1, 384 (69)	334	(8)	2, 934	
					小学校3年生(障害のある児童)	922	(30)	1,079 (69)	289	(11)	2, 290	
					小学校4~6年生(障害のある児童)	712	(42)	1, 110 (101)	388	(21)		(164)
					その他(障害のある児童)	0	(0)	0 (0)	0	(0)	0	
207		-		E.	合計(障害のある児童)		(182)	5,061 (293)	1, 399	(45)	10, 661	
学邓四		年,	.L III -		小学校1年生(障害のある児童)	6	(0)	5 (2)	0	(0)	11	(2)
登 鉧	さできた	にカン・	った児ョ	重 数	小学校2年生(障害のある児童)	16	(0)	0 (0)	0	(0)	16	
					小学校3年生(障害のある児童)	14	(0)	0 (0)	0	(0)	14	
					小学校4~6年生(障害のある児童)	60	(0)	13 (0)	0	(0)	73	(0)
					その他(障害のある児童)	0	(0)	0 (0)	0	(0)	0	(0)
			新け 雨		合計(障害のある児童)	96	(0)	18 (2)	0	(0)	114	(2)

注:()内の数は、再掲である。

(4) 市区町村の実施状況

(1) 111 2 7 11	/ 1/2 =					
全市区町村数	実施率	実施市区町村			合 計	
A	(B/A)	市 (特別区)	町	村	В	
19	100 %	13	6	0	19	

2 放課後児童クラブ数の推移

